

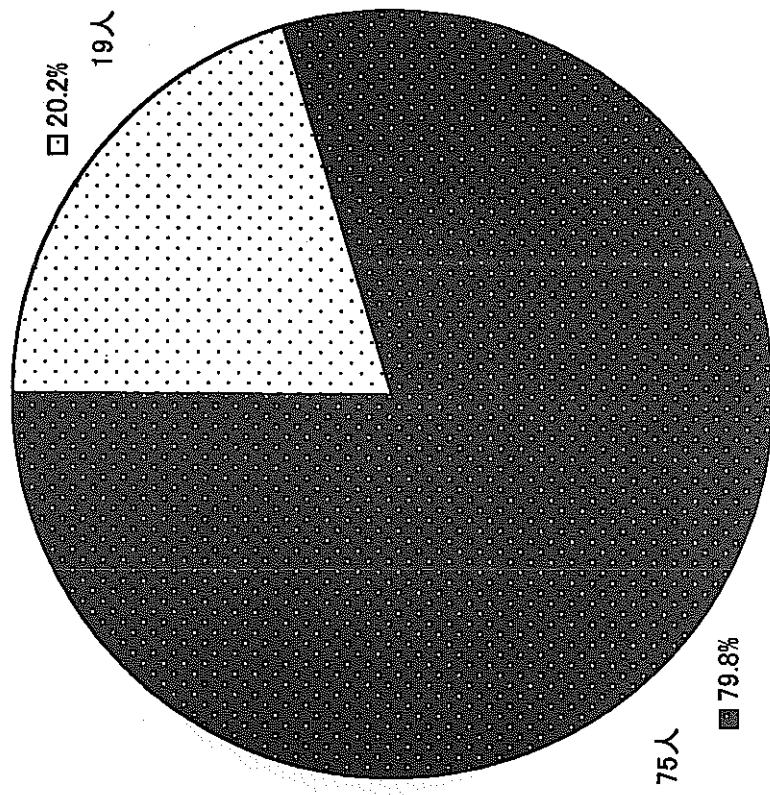


資料3-3：専門家アンケート集計結果

問1 事後評価結果の利用状況(専門家)

□ 利用したことがある ■ 利用したことがない

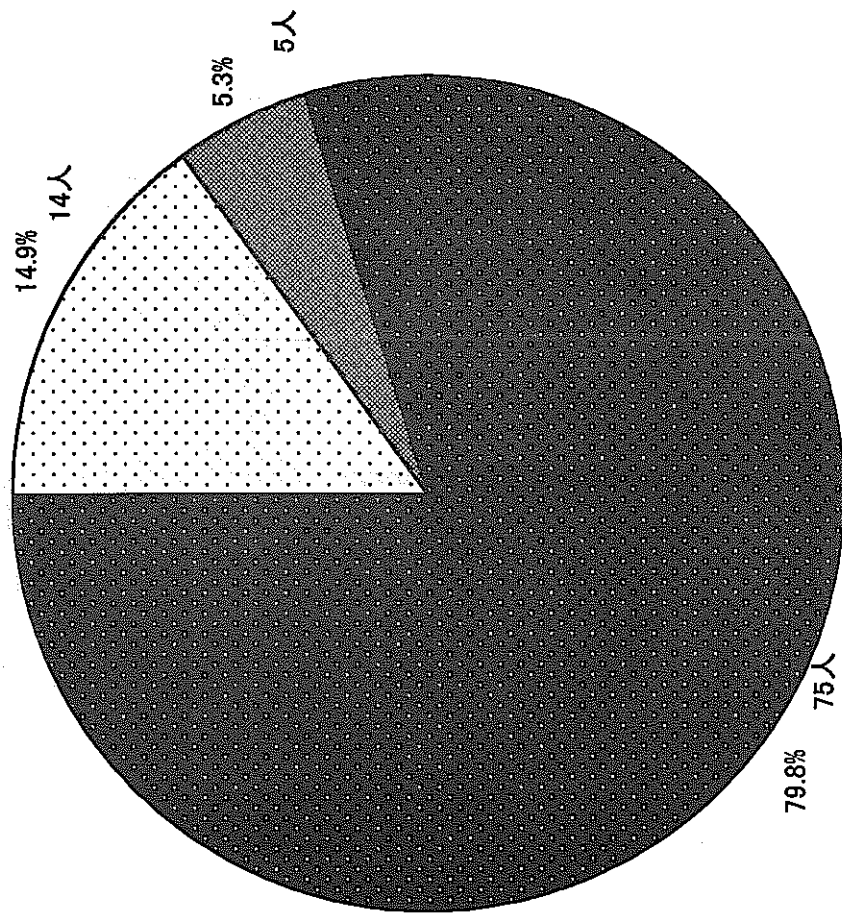
有効回答者数94



問2 事後評価結果の活用状況(専門家)

□ 事後評価結果を活用できた ■ 事後評価結果を活用できなかった ■ 最初から利用していない

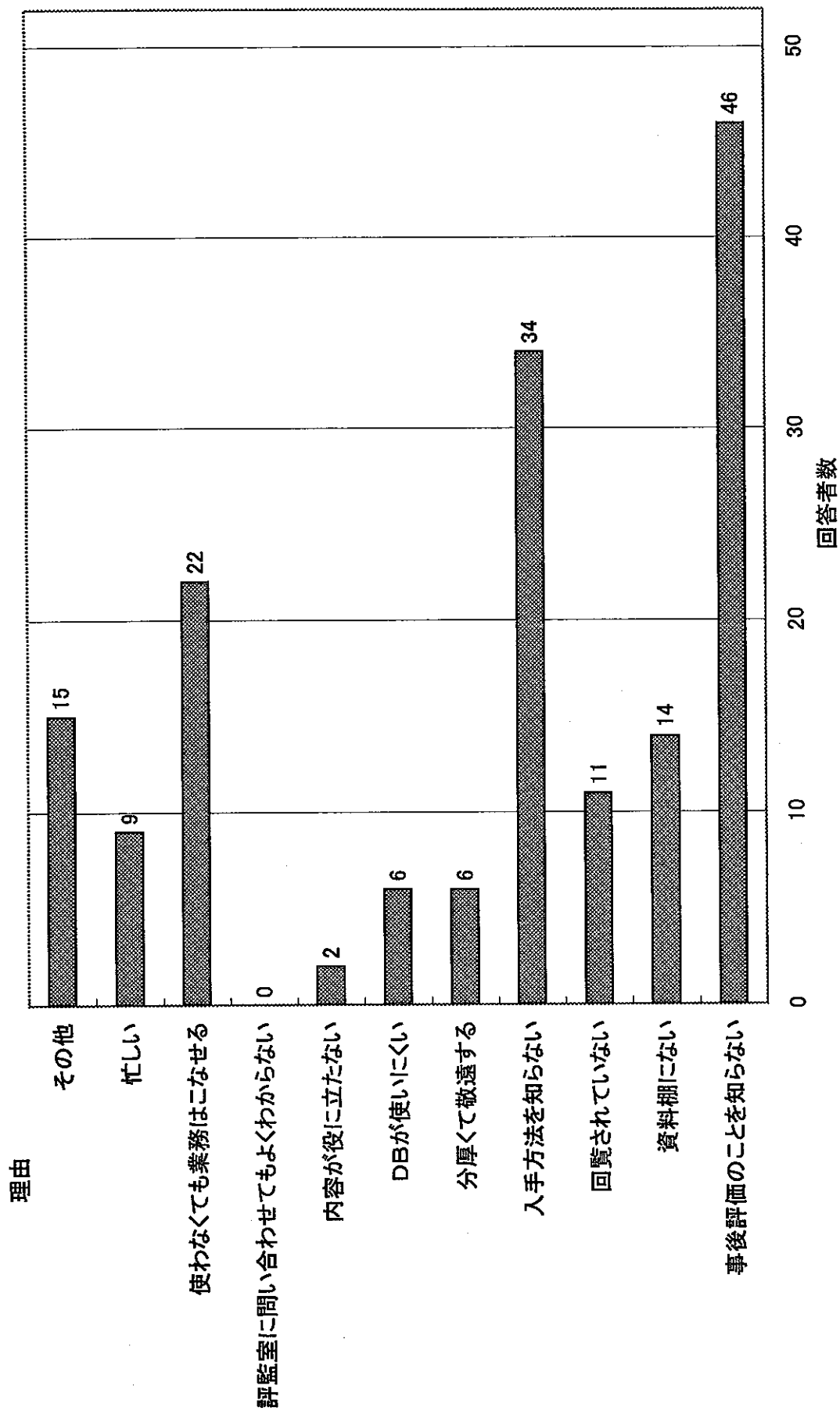
有効回答者数94



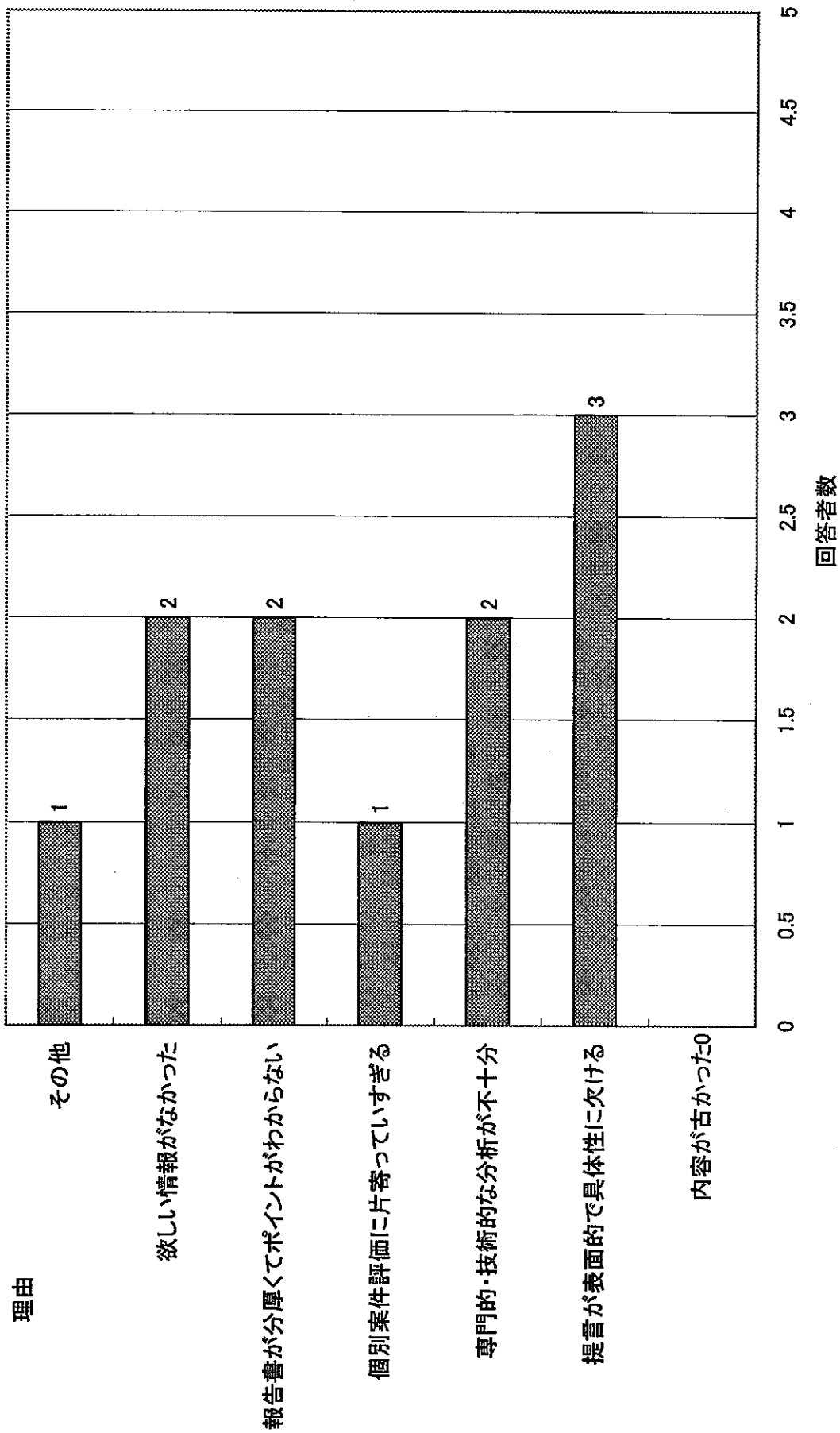
問3 最近活用した事後評価結果の情報源

問3 報告書名、関連資料名とその活用(専門家)	活用した業務										どんな内容を活用したか					
	開発課題マトリックスの検討	事業ローリングプランの検討	JICA協力上の留意点の検討	案件検討	個別案件の立案	調査TORの策定	個別案件の運営管理	ドナー会合等での発表	その他	評価結果	教訓	提言	他ドナーの動向	セクター状況	その他	
1. 個別の事後評価報告書(7件)																
1 特定テーマ評価「中南米一般廃棄物処理」1997年度																
2 バングラデシュ婦人農業研修所建設(無償)について扱った有償者評価															プロジェクト形成時点での先方ニーズの把握の重要性	
3 バングラデシュ個別評価報告書(ドラフト)	○														バンングラデシュで過去30年近くにおわたりおこなわれてきたODAを「ひとこと」で説明する資料作成に役立った	
4 事後評価調査報告書「象牙海岸灌漑稲作機械訓練計画」																
5 パラグアイ国農業協力における貧困・ジェンダー																
6 平成11年度メキシコ個別評価報告書																
7 ネパール特定テーマ評価「基礎教育」																
2. 事業評価報告書(2件)																
8 事業評価報告書(平成12年6月)	○															
9 平成12年度事業評価報告書	○															
3. その他の評価関連報告書、資料(12件)																
10 ペルー地震プロ技終了時評価報告書	○															
11 メキシコ地震プロ技終了時評価報告書	○															
12 トルコ地震プロ技終了時評価報告書	○															
13 平成10年度実施分事後現況調査結果一覧及び事後現況表	○															
14 平成11年度実施分事後現況調査結果一覧及び事後現況表	○															
15 ニジェールカレゴレ緑の推進プロジェクト評価																
16 不明	○															
17 「参加型開発と良い統治」分野別援助研究	○															
18 象牙海岸「品質管理用機材」(単価機材協定)																
19 無償関連の報告書																
20 経済協力評価報告書	○														○ モニタリング・会計	
21 水産振興計画																

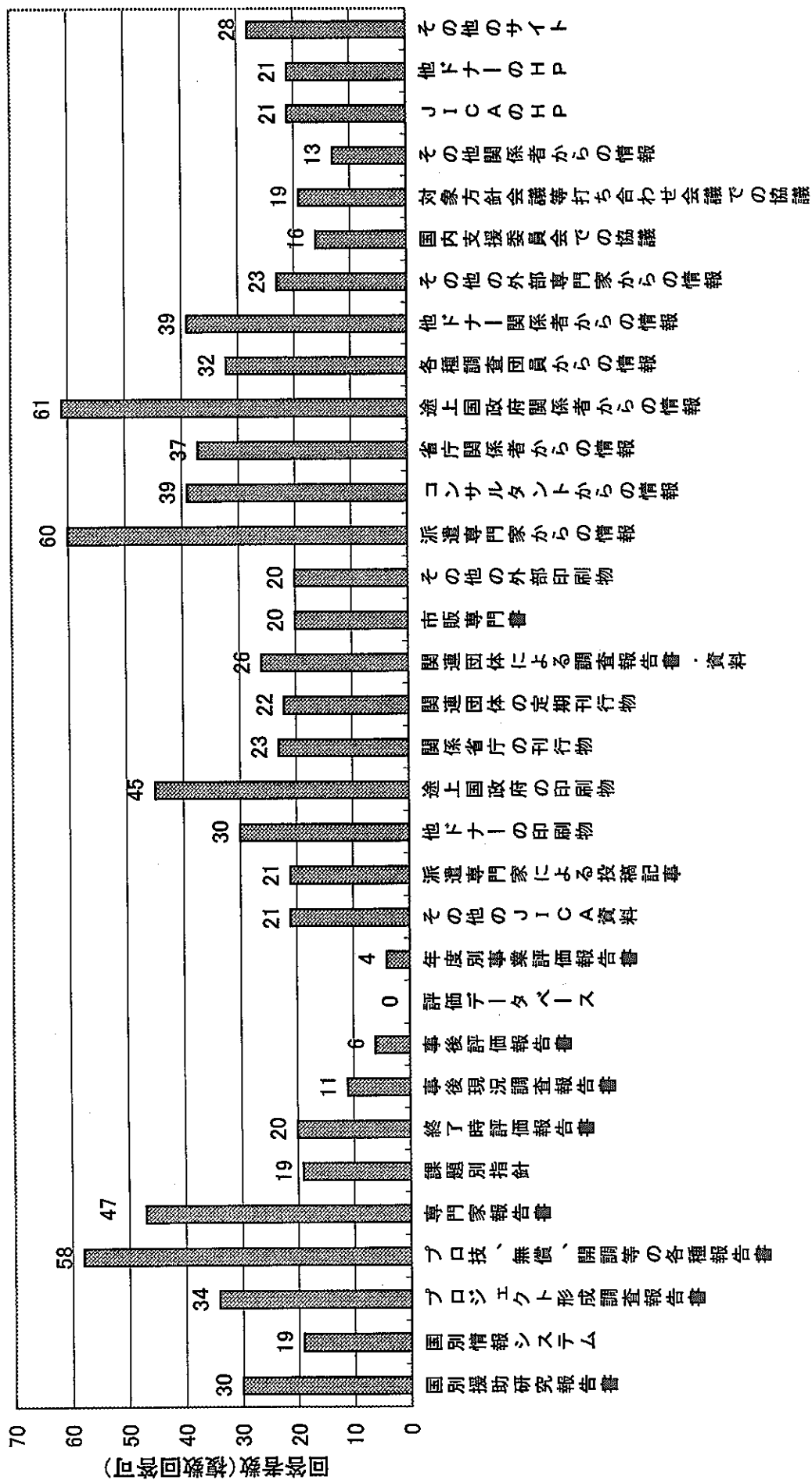
問4 事後評価結果を利用しない理由(専門家:該当回答者数75)



問5 事後評価結果を利用してみたいが役に立たなかった理由(専門家:該当回答者数5)



問6: 日常よく参考にする情報源(専門家)



情報源

図7-1:最も役に立っている情報源①ーJICA印刷物(専門家)

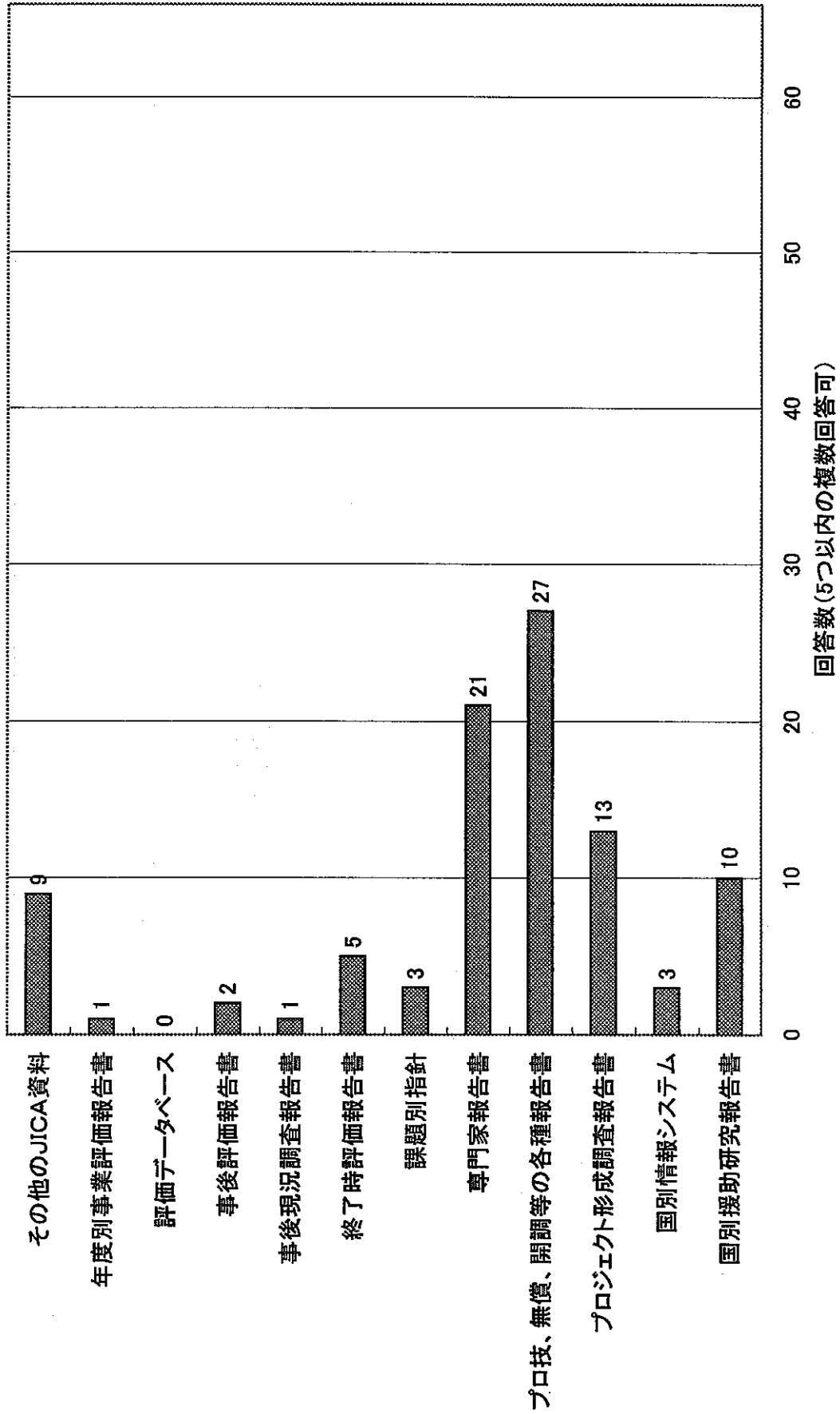
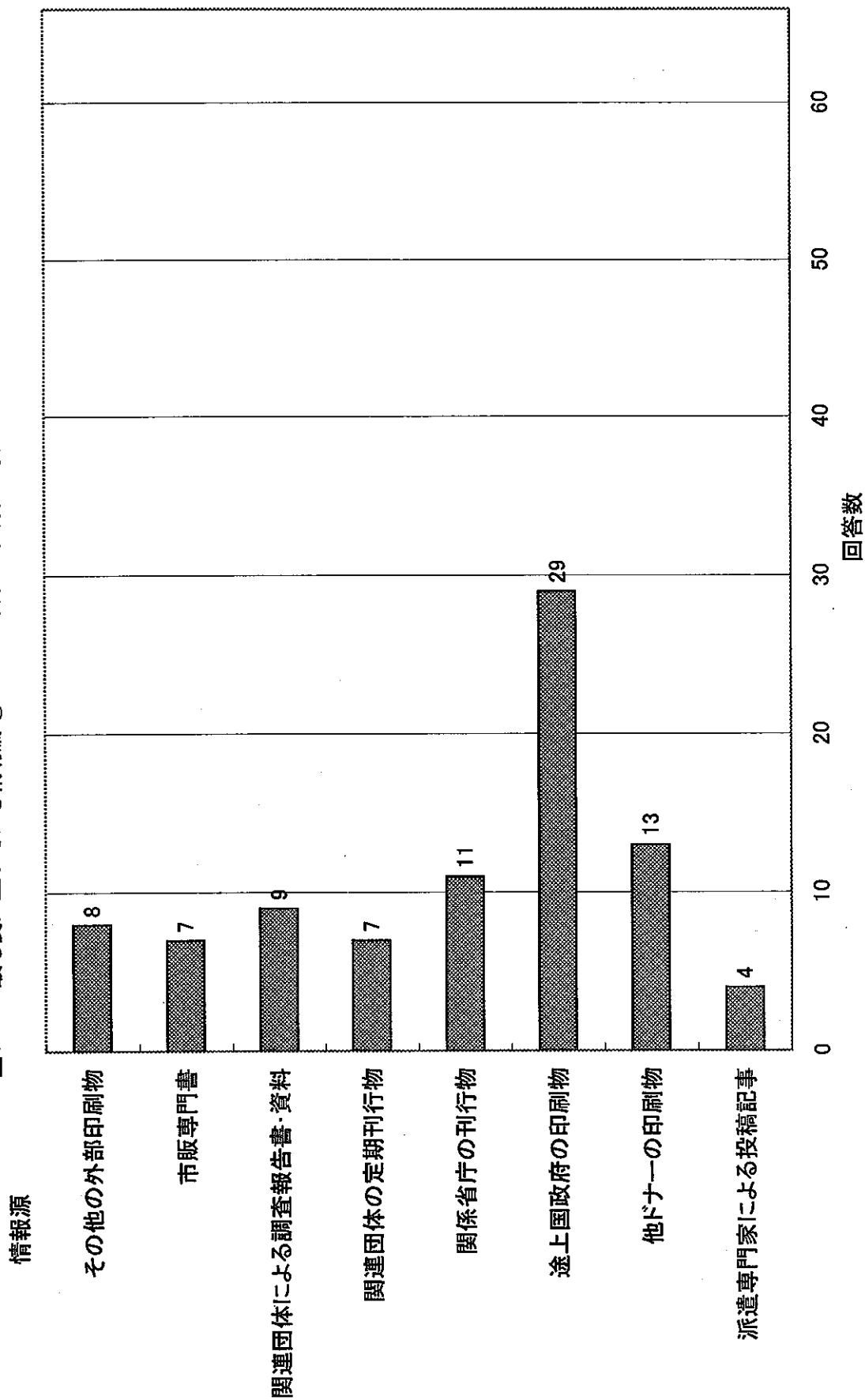
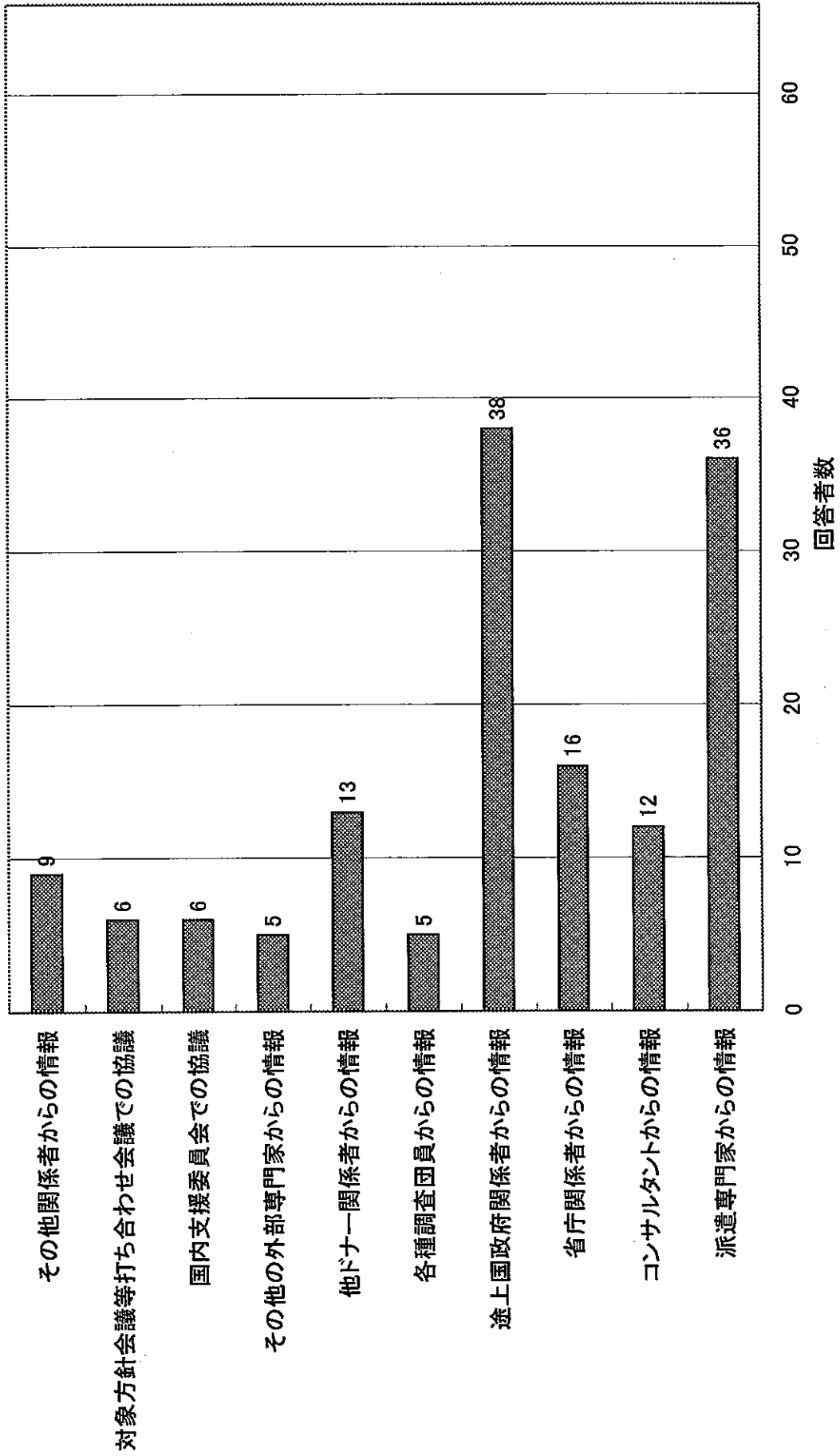


図7-2:最も役に立っている情報源②—JICA外部の印刷物(専門家)

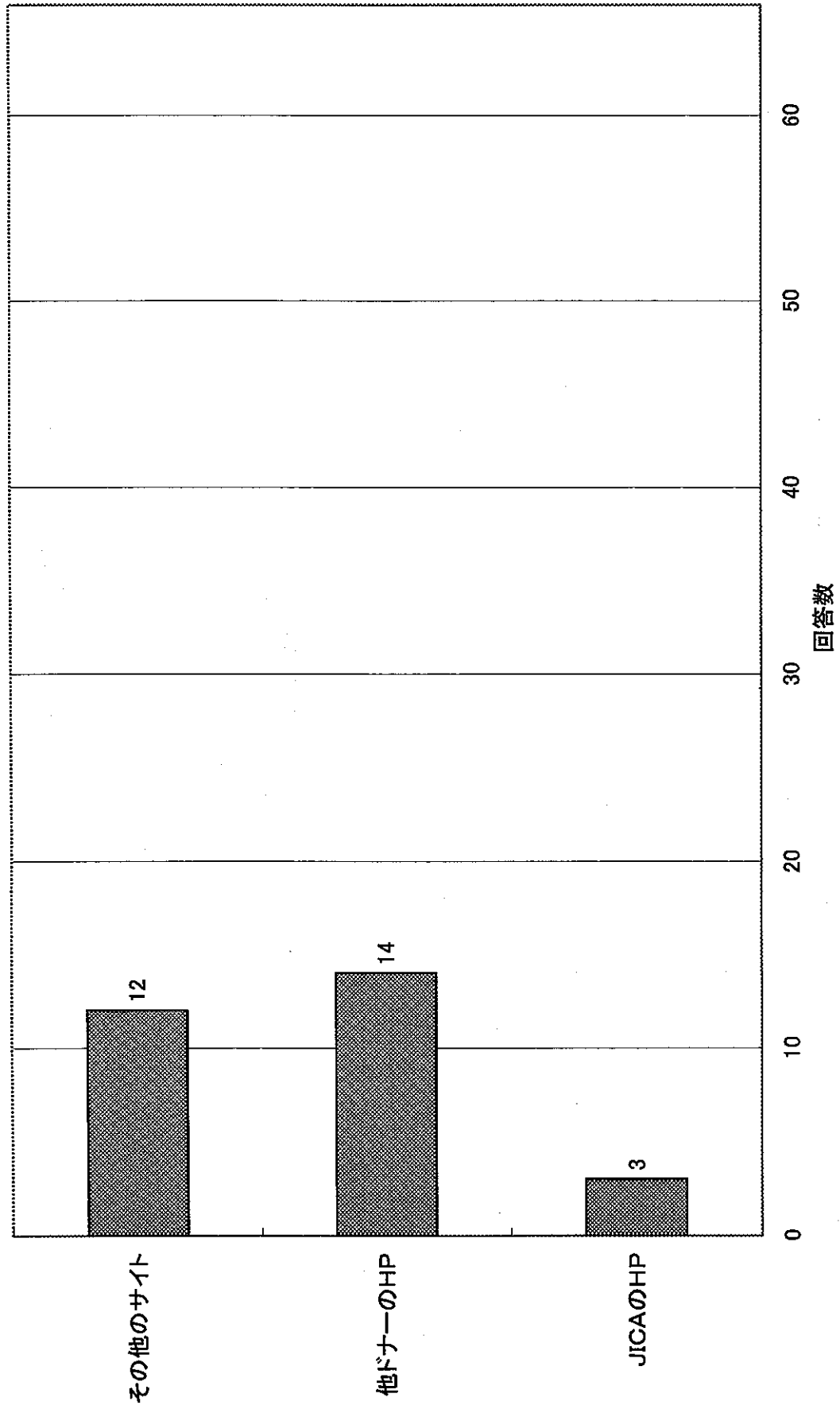


情報源 問7-3:最も役に立っている情報源③—関係者からの情報・聞き取り

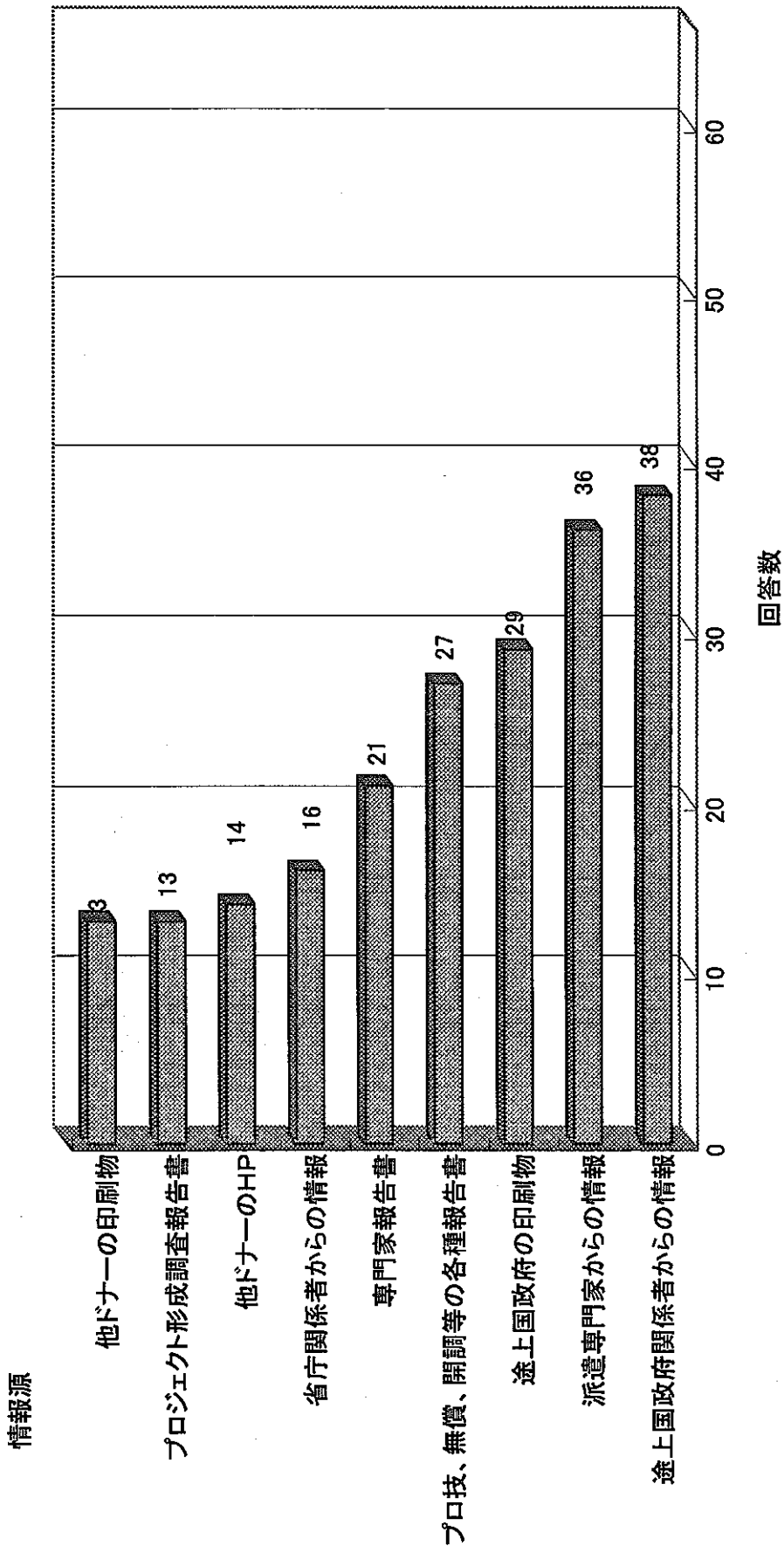


問7-4:最も役にたっている情報源④—インターネット情報(専門家)

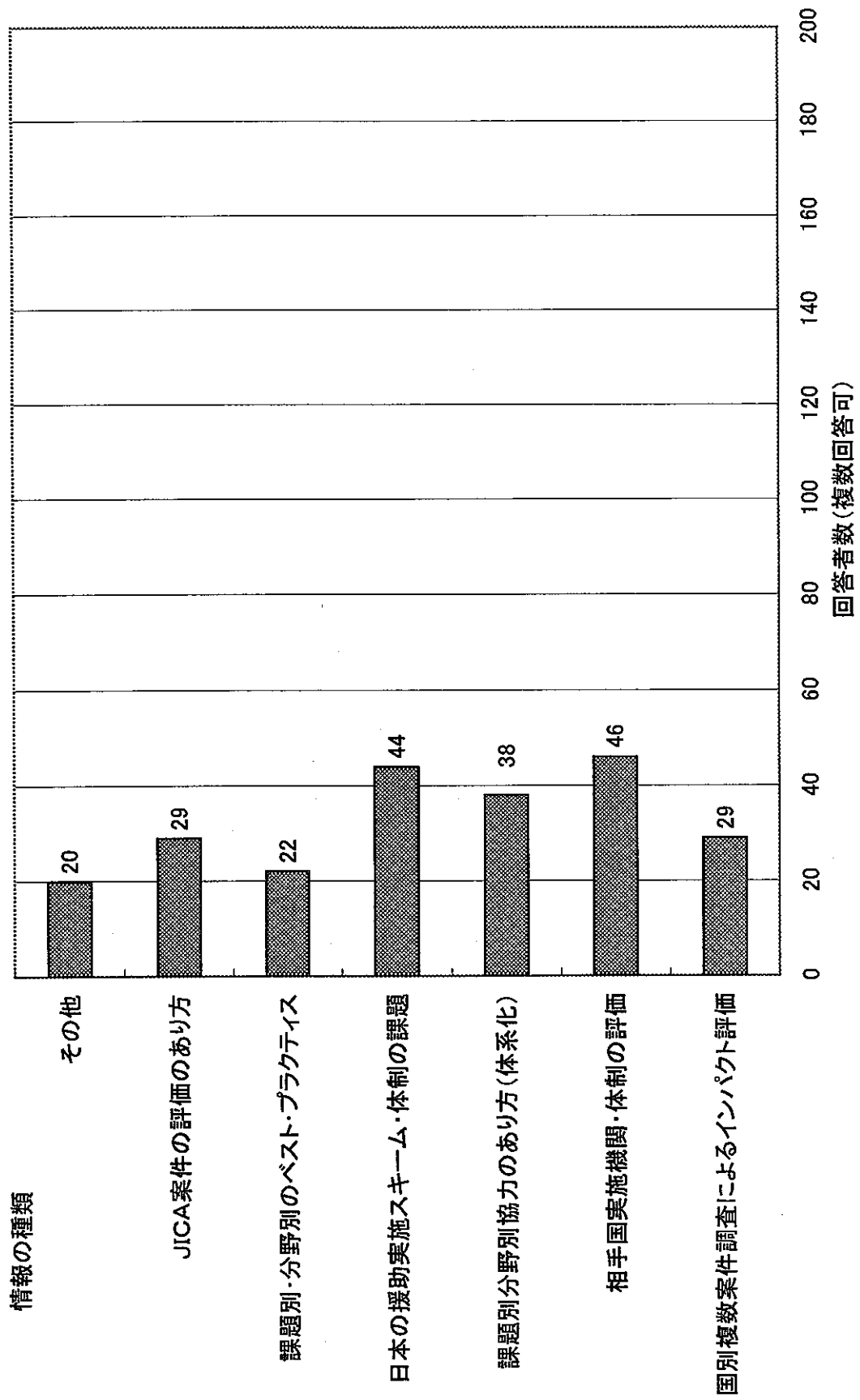
情報源



問7-5:最も役に立っている情報源—上位を占めた情報源(専門家)



問8: 事後評価結果から得たい情報の種類(専門家)



問8:事後評価結果から得たいその他の情報(専門家)

	1. ODA連携について
1	マルチとバイが連携した案件の評価
2	他省庁のODA, JBIC等の日本のODA全体実態がわかるような評価
	2. 相手国実施体制の評価
3	相手機関のモチベーションの評価
4	②(相手国実施機関・体制の評価)について、組織・体制の協力、カウンターパート側費用、実際にその費用が設備整備など何に使用されたか、プロジェクトに有効に使用されたか、人事の継続性の有無、その結果による効果評価、相手国がそのプロジェクトをどのように評価している、を調査評価する。
5	相手国の実施能力や事業継続能力の分析・評価
	3. インパクト評価
6	⑥(JICA案件の評価のあり方)について、そのプロジェクトに対する直接的な裨益効果ばかりでなく、そのプロジェクトがその拠点及び社会に及ぼした効果も評価対象とする。当国における地方地下水開発計画は、小さな村落(50から2000人)に対する飲料水の供給である。その裨益率は小さいが、水の供給によって衛生生活の向上、過疎化の防止、村落の活性化、その結果村落の意識の変革、貧困住民の救済など社会に及ぼす影響は多大である。このような評価調査が必要である。また、5年、10年後の評価調査も必要である。
7	同種案件の実施機関、法制度に関する情報も含めたJICA協力体制、その成果、社会・経済的インパクト
	4. 問題点の指摘
8	④(援助実施スキーム・体制の課題)に関連するが、当該プロジェクトが選定されるまでの経緯と採択に至った理由を明確にしておくことが評価では重要だと思う。問題点を残しながら、開発調査、プロ技、無償等の案件が採択されていた場合、この部分に焦点を当てて改善点を提言してゆくことが求められる。
9	各専門家が事業の運営や立案時に直面した具体的な問題点についての検討を評価に入れてほしい。
	5. 国別事業実施方針の評価
10	現在、JICAでは国別援助実施方針に基づいて援助を実施しているところ、同方針の中間評価や事後評価を行ってどうか。そして評価結果に基づき、計画立案の手法を体系化すべきと考える。
	6. 成功例・失敗例(事例集)
11	クロスカルチャーの存在する中で技術協力を効果的にすすめるために、実践で学び成功した事例を具体的に収集することが大切であると考え。
12	ケース・スタディ集、成功例だけでなく失敗例も。
	7. 地域別評価
13	カンボディアのように近隣国との関係が密接である場合は、域内での共通の評価尺度を導入して欲しい。例えば、道路案件では整備延長、舗装率、交通両等が考えられる。
14	地域別援助のあり方、近隣国との総合的な地域開発に対する提言
	8. ドナーとの比較・協調
15	他ドナーの援助手法と比較した形での我が国援助の評価
16	ドナー協調による具体的な方策の可能性
	9. 協力のあり方
17	表層的な案件評価に留まらず、相手国の組織・社会・文化的な深層にまで踏み込んで、どのような方法で協力を実施したらよいか参考に参考となるような評価がほしい。このためには現地の一flow専門家に委託した、現地側から見た評価が必要であろう。
	10. その他
18	複数の専門家他関係者の生原稿

19	日本の援助実施スキーム、体制の課題・改善点を整理し、外務省、マスコミ等に提言して欲しい。
20	具体的な過去の専門家派遣、調査結果のデータベースの整理されたもの
21	他国のどのような専門家が派遣され、それを参考に当国でも要請したいと言われたが、英文の専門家職種が入った最近状況は入手できなかった。

問9:自由コメント(専門家)

	1. PRの必要性
1	事後評価結果利用の手引きが必要である。
2	事後評価は専門家活動にとって重要であるので、周知の徹底を図って欲しい。
3	専門家等は、外務省、JICA他の機関がどのような評価を行っていて、どのようにアクセスすれば必要な情報にたどりつけるか詳しく知らないと思われるので、「入手可能な評価の一覧」のようなものを使って広く伝えていくことが必要。
4	どの分野で、どのような評価が行われているのか、またどこに行けばそれらを見ることができるのか、といった基本的な情報が絶対的に不足しているように感じる。
5	まことに不勉強ながら、事後評価については聞いたことがあるだけで、その具体的な内容は全く存じ上げない。誰が何に基づき評価を行い、それがまたどう反映されているのか、が最も知りたい項目であるが、評価書の入手手段すら理解していない。勝手ながら、その辺の周知方法からまず広報が必要なのではと考えている。
6	私の勉強不足であるが事後評価という情報すら知らなかった。タイミング(内容も当然であるが)が重要であるところ、入手方法の明示が重要であると考えている。
7	もっと「評価」について広報・PRをした方が良いと思う。
8	評価監理室が何をしているのか全く知らないし、説明もないからどうしようもない。まず、評価監理室の周知徹底が先決。
9	これまで同室の評価業務についてよく知らなかった。現在、在外において入手できる報告書類(インターネットも含め)の一覧をお知らせ頂ければと思う。
10	各種事後評価資料の広報をもう一步踏み出した形で通知してほしい。(必要性を感じる時は探すものの、日常活動に終われなかな資料検索を行わない。)
11	事後評価などがいつ実施されているのかといった情報が少なすぎるのか、全く知らないことが多い。もう少し情報があれば、前向きに考える機会も増えると思うのだが。
12	本来情報はこちら側で収集するものであろうが、評価監理室で情報をもっているのでも、それをどんどん発信して欲しい。予算の面もあろうが各サイト、専門家に送るとか、一時帰国時または赴任時に本部原課をとおして渡すとか(負担にならない程度)。とにかく評価云々等自体知らない人が多い。
	2. 情報提供の形態
13	調査報告書の要旨をCDs化してほしい。
14	継続した業務の場合、または、引き継いだ業務の場合、今までの資料をしっかりと保管し、すぐ閲覧できる状態にしておくことが重要と考える。それにより、無駄がなくなり効率よく良い結果が得られる。
15	分野別及び国別に最新の情報をすぐに簡単に入手できることを望む。
16	報告書の新刊情報を定期的に現地事務所で見たいとありがたい。
17	項目別に体系化したデータベースを作成して、インターネットからアクセス可能なようにすべき。
18	多様な分野にすべて対応することは困難があると思うが、必要があれば今後の新しい分野に対するイメージの形成に役立つことも可能と考えるので、専門家の資料の一部に組み込まれるような仕組み、例えば、リストの送付、関連のありそうな報告書の積極的な配布が活用につながると期待される。
19	JICA外部から派遣されている専門家は評価監理室などJICA内部にアクセスするのがむずかしい。そこで、派遣前集合研修に評価監理室の役割や評価された案件、評価方法など関連する情報を伝える講座を設けてはどうか。
20	継続的情報の提供
21	派遣前研修時に、該当国・該当専門分野についての事後評価結果資料を専門家1人1人に手交していただくことを希望する。
22	類似プロジェクトの事後評価報告書を赴任前にいただけると役立つ(通常、業務を開始して大分経過してから思いつくため)
23	評価情報は公表が建前となれば、在外で働く我々も自由に評価情報が利用できるようにインターネット上での情報の公開を検討していただきたい。また、インターネット上での利用が不可能な場合は、CD、MO等に情報を書き込んで送って頂けるようお願いする。

24	JICAホームページに出版物（評価報告書も含め）をダウンロードできる量的拡大を望む。
3. 評価対象・内容について	
25	監理室の実施している事後評価は、申し訳ないが不勉強ではっきりした指摘や感想はかけない。しかし、日頃感じていることで、この機会に書きたいことは相手側カウンターパートの責任者と日々のコミュニケーションの中からいろいろなアイデアが出てきて、それを実施し、評価し、反省していることがある。こうした事例（具体的なもの）を各国の専門家から集めるのは意義があると考える。
26	日本の援助実施スキーム等については、途上国の実情とずれていて改善が必要である。
27	私も評価の仕事に従事したことがあるが、上記の点（8の⑦に記述：プロジェクト選定までの経緯と採択に至った理由）について明らかにしておくことが大切だと感じている。当時よりも公共事業のあり方が日本国内でも真剣に議論されるようになってきたので、プロジェクトの正当性、妥当性についてプロジェクトありきでスタートするのではなく、ニーズから一步一步検討した案件についての評価レポートを「良い事例」として作成していただきたい。
28	国別評価や特定テーマ評価を見ていると、個別の案件が当該セクター全体、受け入れ国のマクロ経済全体にどのようなインパクトをもたらしているのかについて分析が甘いように思う。個別案件の実施が、セクター全体、マクロ経済全体に与えたインパクトが把握されれば、JICAの事業に対する自信にもつながると思われる。今はそれがないので、自分たちで自分たちのやっていることに漠然として不安を抱えている。その点ではバングラデシュの試みは今後拡大してゆけば楽しみである。
29	国別とか特定テーマ別ではなく、個別専門家派遣事業とか研修員受け入れ事業全体の評価を進めてほしい。年間2000万円もかかる長期専門家の費用対効果とか、帰国研修員の各国ポートフォリオとか、ポジティブな結果が出れば、職員の自信につながるし、ネガティブなら事業の再検討の材料にできると思う。
30	行政体制が縦割りで、横の連絡がないため全体（予算・事業等）の把握ができない。受入政府・機関の縦割りを解消し、関係機関・省庁が協力して案件・事業の実施をするよう相手国政府に強く要請してほしい。
31	ダメなものダメ、失敗したときは失敗したと素直に書いた評価が欲しい。失敗から学ぶことは大きいものです。
32	途上国では一般に施設の完成のみに関心があり、完成後の維持管理がほとんどなされていない。最も重要なことは施設の運営であり、予算・制度・人員の面で協力的な要請・実現が重要である。
4. 評価実施の方法について	
33	事後評価に現地に来訪される場合の現場への説明が突然で、相手国政府に理解を得る時間が取れない。事後評価のためのコンサルタントが事前に国内での調査を十分にしておらず、既に日本人専門家社会の中で常識化している問題を相手国政府に質問し、悪評を買うケースがある。（タイの開発調査報告書、経済計画、その他の資料を相手国政府に要求等。）
34	問8に関連して、情報の問題というよりも実施した調査の報告をどれだけ早く関係者にフィードバックできるかだと思う。実施してから1年以上も経ってもできあがらない評価レポートでは意味がない。それだけ評価から次のプロジェクトサイクルに進むのが遅れるわけなので、待っていたら案件検討も進まない。結局評価結果を待たずに案件検討に入ることが多く、それゆえに評価結果に対する期待をdiscourageされていると思う。
35	無償案件及び供与機材の事後現況調査に関する所感として、非常に事務的であると思う。特に供与機材に関しては、定期的に巡回調査指導を行い、継続的なフォローを行うことにより、供与機材の維持管理とそれを使用して何をしたのか、までのフォローを行い協力効果を高める必要がある。日本が機材を供与していることは一般市民も知っているが、その機材を利用して何をしているのかをもっと宣伝する必要がある。
36	当国でも評価があり、日本援助につき独自評価（金額で評価）をしているが、専門家、協力隊、研修等金額として明示されないものの評価はそれに含まれない。個別には通報せずとも、それぞれに単価を設定し、今年度この程度、あるいは前年度バングラデシュ分としてこれだけ支出した等の通報を相手方も望んでいる。それに応える方策を現在模索中である。技術協力は金目ではないとしても、次善の評価方法が探れない今、金目だけでも通報し相手方に認識してもらうことは必要と考える。

37	ODAに対する批判や世間の見目が厳しくなっている今日、JICAは適切な案件評価を実施し、案件がその国造りに役立っているという対外的な広報が必要である。外部委託なども視野に入れ、評価体制の強化を図ることが求められる。
38	事後評価はセクター情報の把握、今後の協力の進め方を検討するうえで貴重な情報を提供しているが、国によって評価の規模、頻度、精度にばらつきがあり、必ずしもニーズにあった評価結果を入手できていない。事務局がローカルコンサルタントを育成するなどして、より充実した事後評価を実施することが望まれる。また、事後評価におけるイニシアチブを事務局に取らせ、評価結果を活用する人水からが使いやすいように評価をつくりあげていくことも重要だと思う。
39	現地JICA事務所に、モニタリングと評価担当のスタッフが必要である。このスタッフが現地の専門コンサルタントやシンクタンク等に委託して継続的にJICAの業務をモニターし、評価し続ける体制が欲しい。この機能は本部事業部とは完全独立のこと。
40	多くの評価結果はまあまあ成功で、悪いのは途上国側の体制等を問題にしているが、これはプロジェクトの妥当性に問題ありとの認識が必要である。
41	極端な人手不足に陥っている在外事務所の現状においては、事後評価が技術協力業務にとって非常に重要なプロセスであるにもかかわらず、日常のオペレーションに追われてほとんど手をつけることが困難な業務となっている。このため、当面は外部評価に力点を置かざるを得ないのではないかと。
	5. 評価手法・方法論について
42	事後評価の基準が技術的な成果をみるものなのか、相手国との協力成果をみるものなのかの意味が十分に理解できていない。技術移転の項目によっては相手国側が2年や3年の機関では到底修得不可能なものもある。技術的な成果に重きを置いた案件もあれば、カウンターパートの技術取得に重きを置いた案件もあると思う。これらを一律に評価するのは難しいのではないかと危惧する。また、日本のトップ技術での成果を出す必要のある案件の場合（種生物多様性などはこういった分野）、評価する側も相当その分野の知識がないと評価できない場合もある。その点を若干危惧する。
43	一専門家として、特にJICA専門家スキームが政策支援・助言型専門家のそれに合わないよう考えられ、政策関連専門家のスキームを早急に整える必要があると考えられる。この点先ずは専門家の評価システムの確立が求められる。
44	PDM作成の際に評価監理室からの技術指導を盛り込み、プロジェクトデザインから一環した評価手法（方法論）をとるべきではないか
45	国民の税金で行っているJICA事業なので事業の評価結果を国民に公開するのは当然であると思う。ただでさえ、国外で国民の目の届きにくい場所で多くの金額を投入しているわけですから、批判の対象になりやすい事業だと思う。したがって、あまり表面的にならず、より具体的に現場の事業結果が伝わるような評価方法を検討していただきたい。
46	効果と持続性の観点に社会・経済的収益の視点が欠けていると思われる。
47	南南協力支援の観点からすると、ニュードナーに対して案件評価手法、インパクト評価手法に関するJICAのノウハウや経験を移転できるような資料があればと希望する。
48	評価するポイントをまとめたハンドブックがあると良いと思う。
49	協力終了時はRD及びPDMによる評価法が基準となるであろうが、終了10年後くらいに相手方に行わせれば具体的な課題等が把握できると思われる。

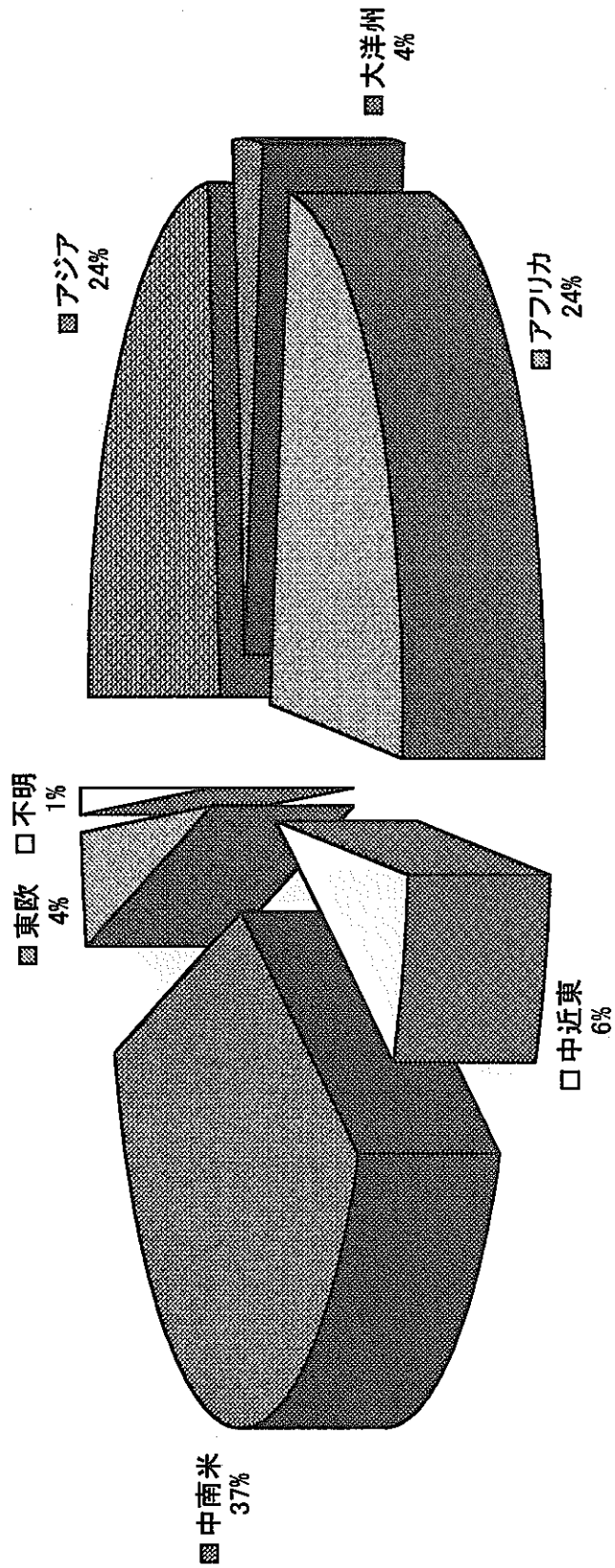
50	巨大な無償援助を行ったプロジェクトが必ずしも成功例とは思えない。OwnershipやSustainabilityが確立されたか否かで評価して欲しい。
51	中米地域における二国間ベースの日本のODAは長い歴史と実績があるが、広域協力のアプローチから中米統合に資するJICAの協力はその実施の可能性と検討がやっと開始された段階にある。このことから、1) 過去の協力案件の広域利用を視野に入れた評価とフィードバック、2) 現在実施中、又はこれから実施される二国間案件の広域的活用を視野に入れた案件デザインと広域利用につながるフィードバックを考慮した事後評価が、中米カリブなど歴史的、民族的、文化的類似特質をもつ特定地域では有用。
6.フィードバック体制全般について	
52	フィードバック方法を検討し、途上国に派遣されている専門家でも、容易に評価結果・報告書にアクセスできるような体制を整備してほしい。
53	次後評価結果のフィードバックとして、制度的な問題を明らかにし、常に現地ニーズに対応した「新制度の構築」に向けた予算要求をお願いしたい。
54	各種の評価結果がフィードバックされているか疑問。常にフィードバック状況をフォローできる体制整備が必要と考える。また、セクター／課題別評価ですら十分なフィードバックが現実にはできない状態で、国別事業評価等を実施するのは単なる評価のための評価で終わるのは当然と思う。
7. 評価監理室の役割について	
55	専門家へのフィードバックは全くなされていない。(1998年派遣前研修では評価監理室に関するオリエンテーションはなかった。その後もその利用法も情報も得ていない。) 評価監理室が個々の専門家にフィードバックを望むなら直接当該専門家にコンタクトをとるべきであろう。
56	評価結果を具体的に具現化する手法について具体的に提案できる室となること。
8. その他	
57	プロジェクトに専門家として参加している。設問7にある事項について検討したり、そのような事項についての検討会議に参加したことがないので、設問7についての回答はできない。
58	今回新規の事業として赴任してきたばかりであり、未だ事後評価への関心はない。しかし、赴任前の研修で本件についての簡単な講義があったことは記憶している。プロセスマネジメントは事業を効果的に進めるうえで有用であり、今後活用していきたいと考えている。例えばPMの基本的行動パターンでは、我々はハンドブックを参考とする前に既に参加型の合同Working Groupをテーマにおうじて設置し、効果をあげている。一段落した時点で他の事後評価結果などを参考にすることを考えている。
59	前述したようにPDCA手法は効率性、効果測定などの点で有用と考えるので、これからの仕事を進める上で活用してみたい。それだけの余裕ができるか自信はないが…。
60	JICA職員と専門家に対し、同じ質問票でアンケートをとってもあまり実効的でないと思う。
61	このアンケート自体に書き込んで行く上で馴染み難いものが感じられる。一つには網羅的であろうとする余り項目が羅列されすぎているのではあるまいか？事前討議をより深めていく必要があったのではないだろうか？

62	<p>JICA及び専門家はプロジェクトのカウンターパートとの意思の疎通が必要である。当国においては、プロジェクトのカウンターパート達は他の職員と同給料で厳しい労働である。日本人と共にこの国を建設しているのだという意識を持ってもらうのが大切である。電話したり、訪問したり、一緒に食事したりしてこの国を知り、日本を紹介する。日本を知り、日本の技術を習得するためにも日本での研修は欠かせない。</p>
63	<p>プロジェクトの計画目標を明確にする標記する必要がある。投入だけが目標のプロジェクトはスキーム自体に問題がある。</p>

資料3-4:

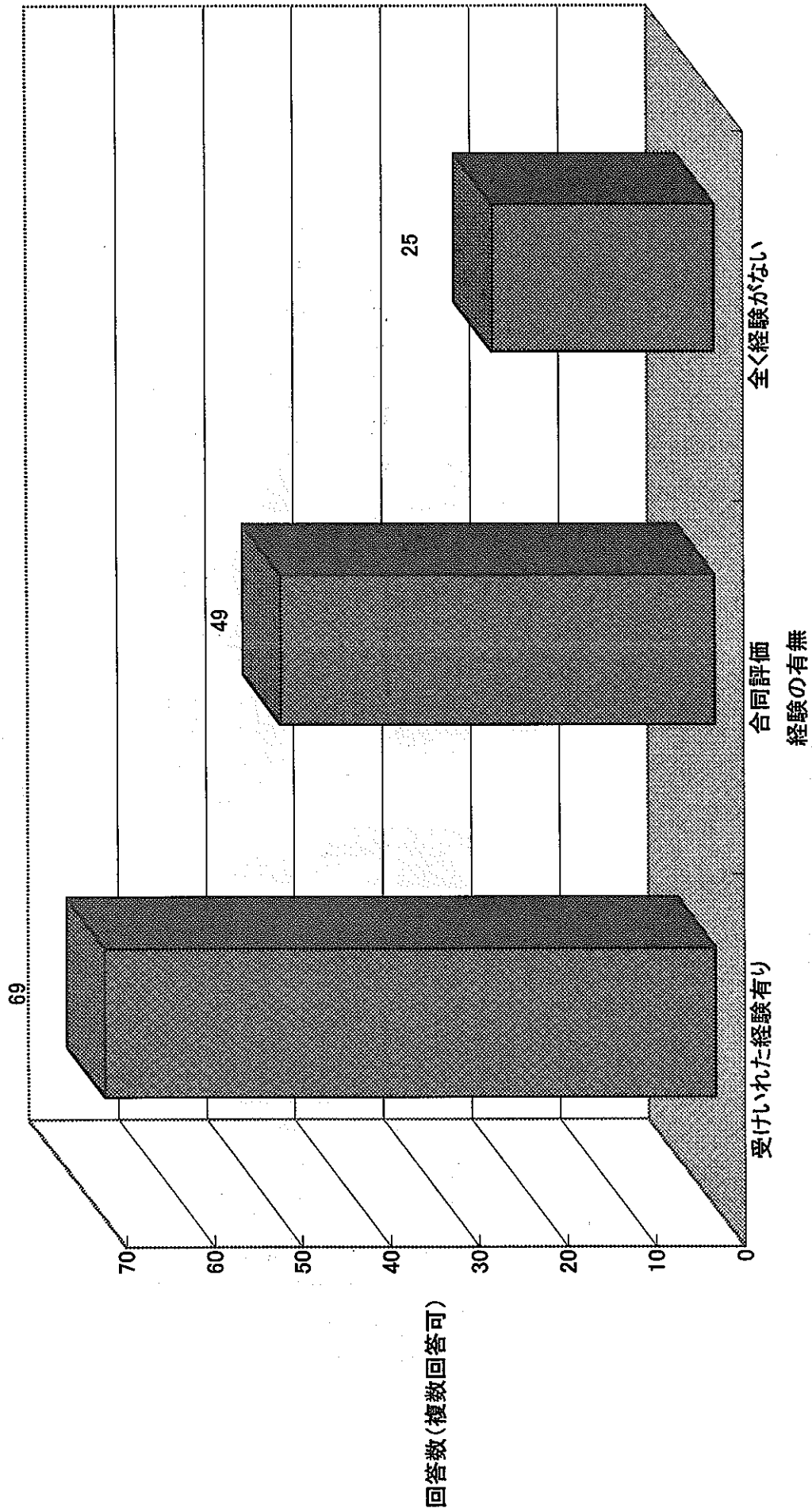
相手国実施機関アンケート集計結果

相手国実施機関—地域別回答数(合計98)



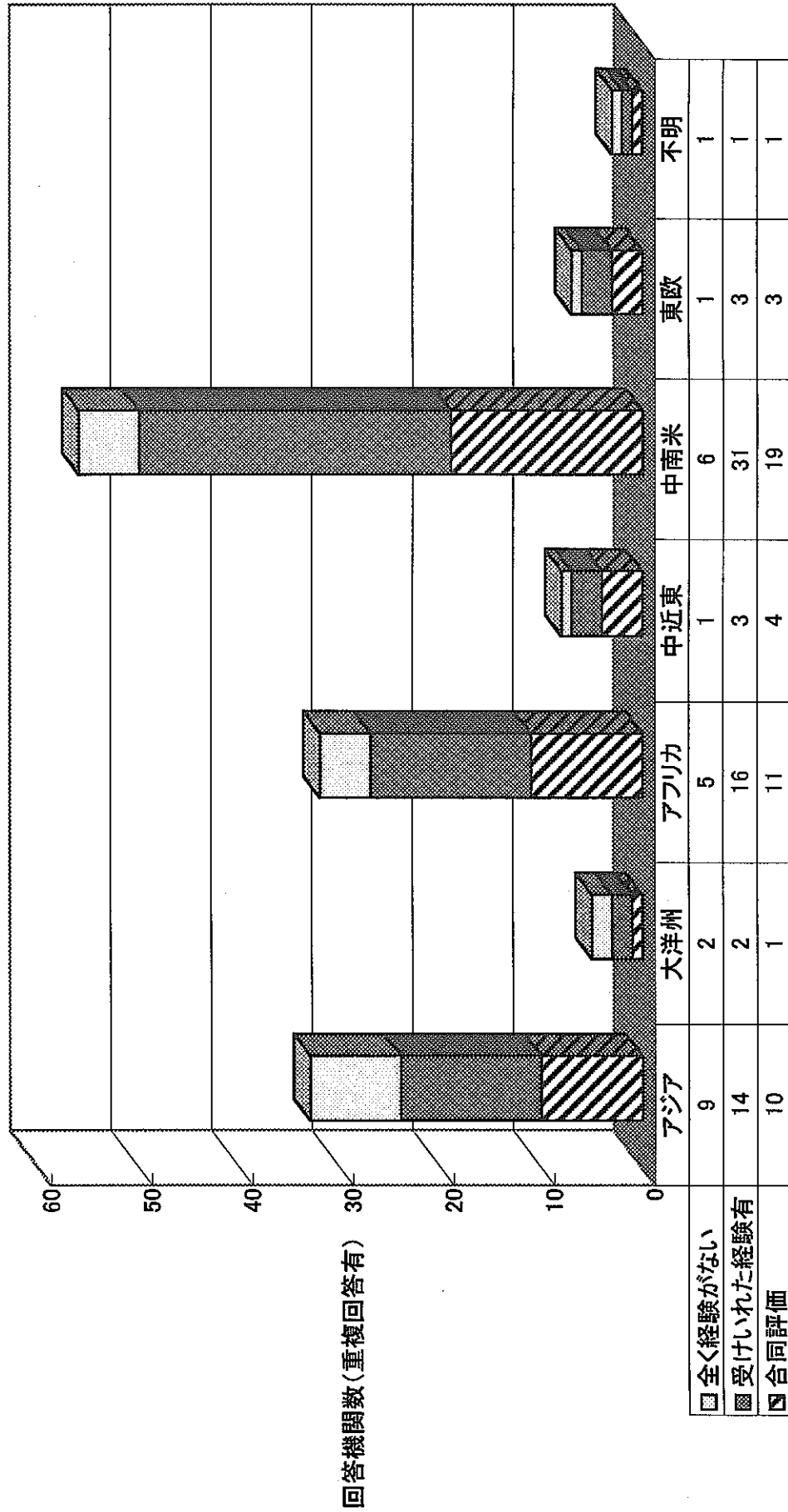
	中南米	アフリカ	アジア	中近東	太平洋州	東欧	不明
回答数	43	28	27	7	4	4	1

Q1: JICAの評価調査団と関わった経験があるか



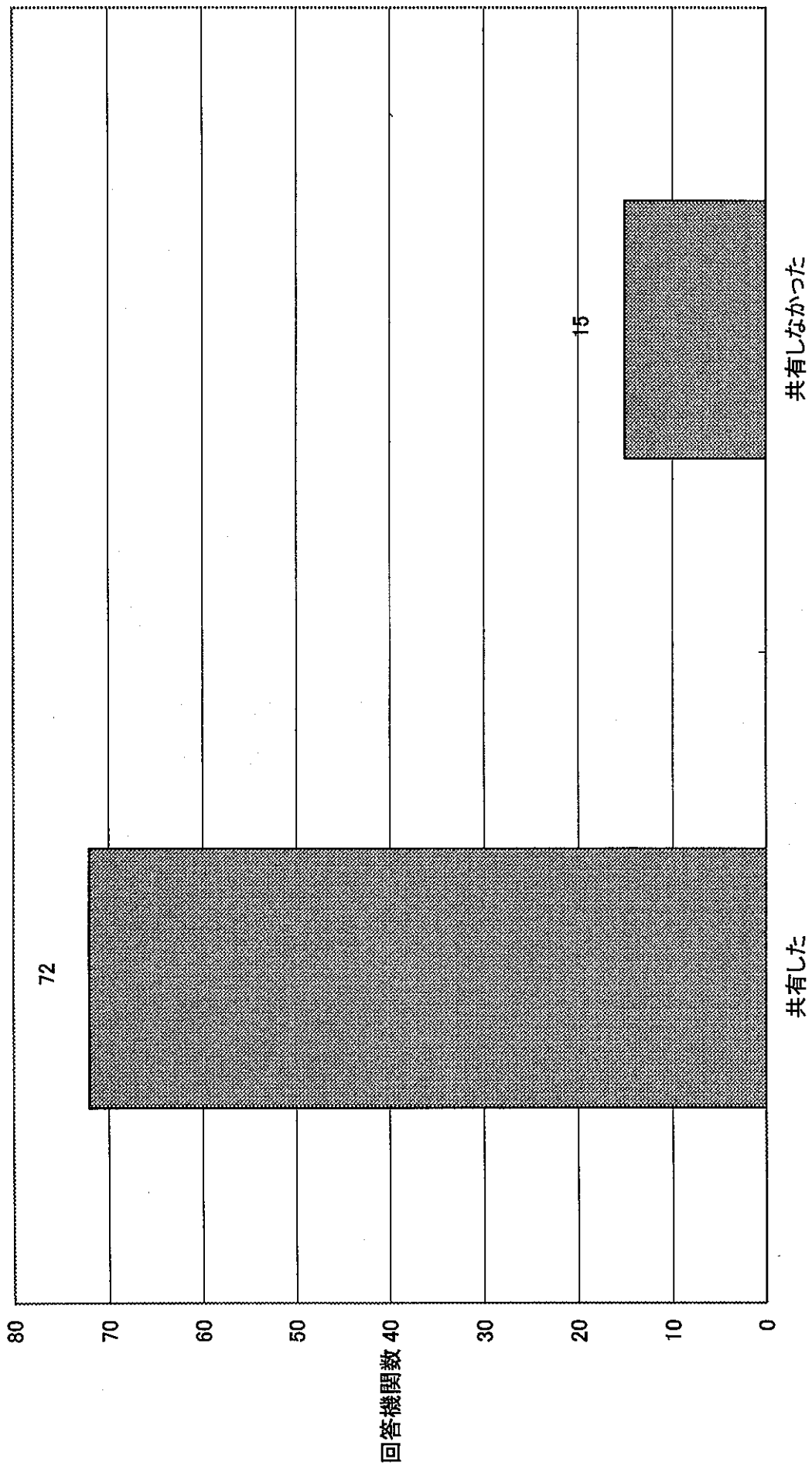
Q1: JICA評価調査団と関わった経験があるかー地域別

☐ 合同評価 ■ 受けいれた経験有 □ 全く経験がない

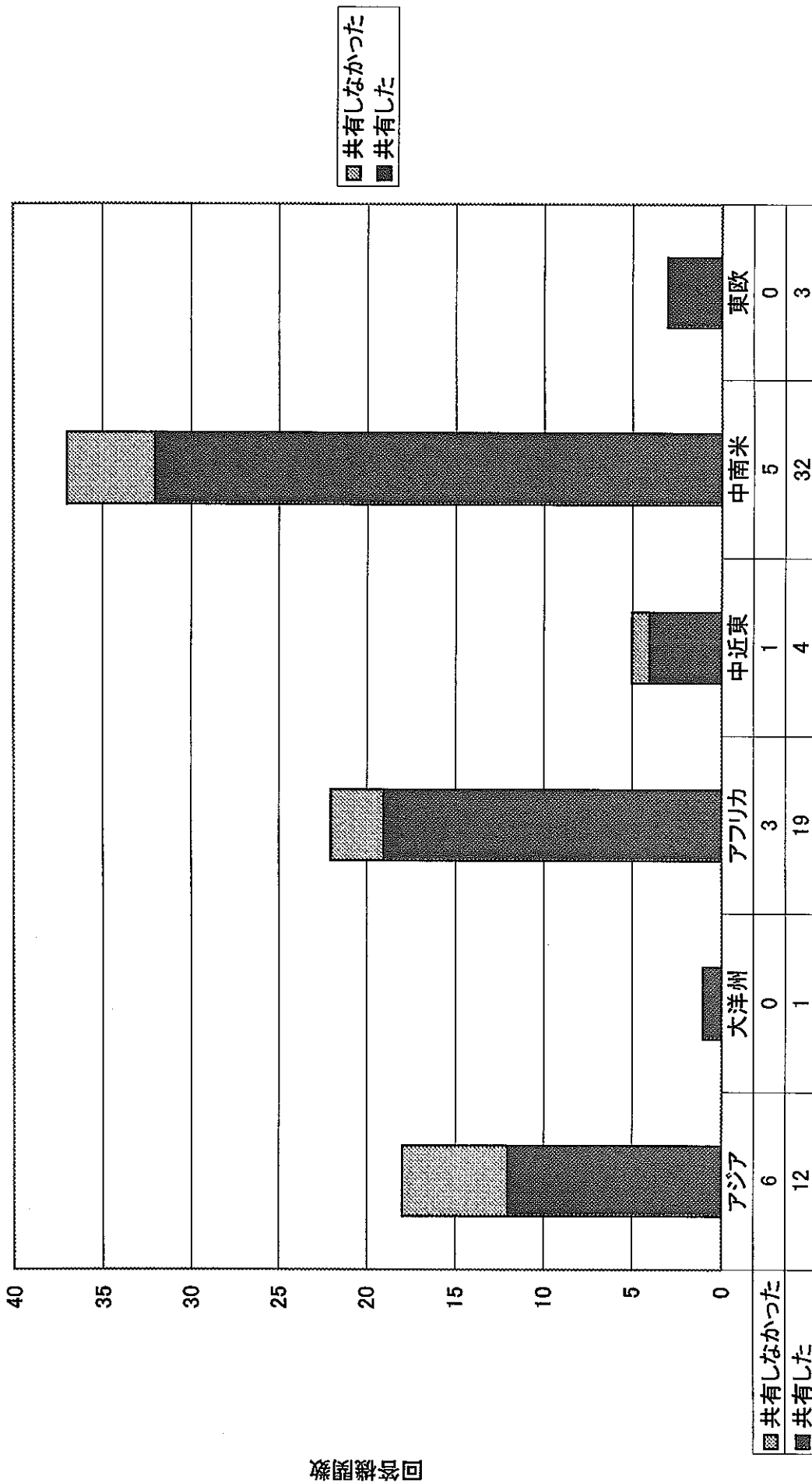


地域別

Q2: 評価結果を共有したか(該当機関数89)

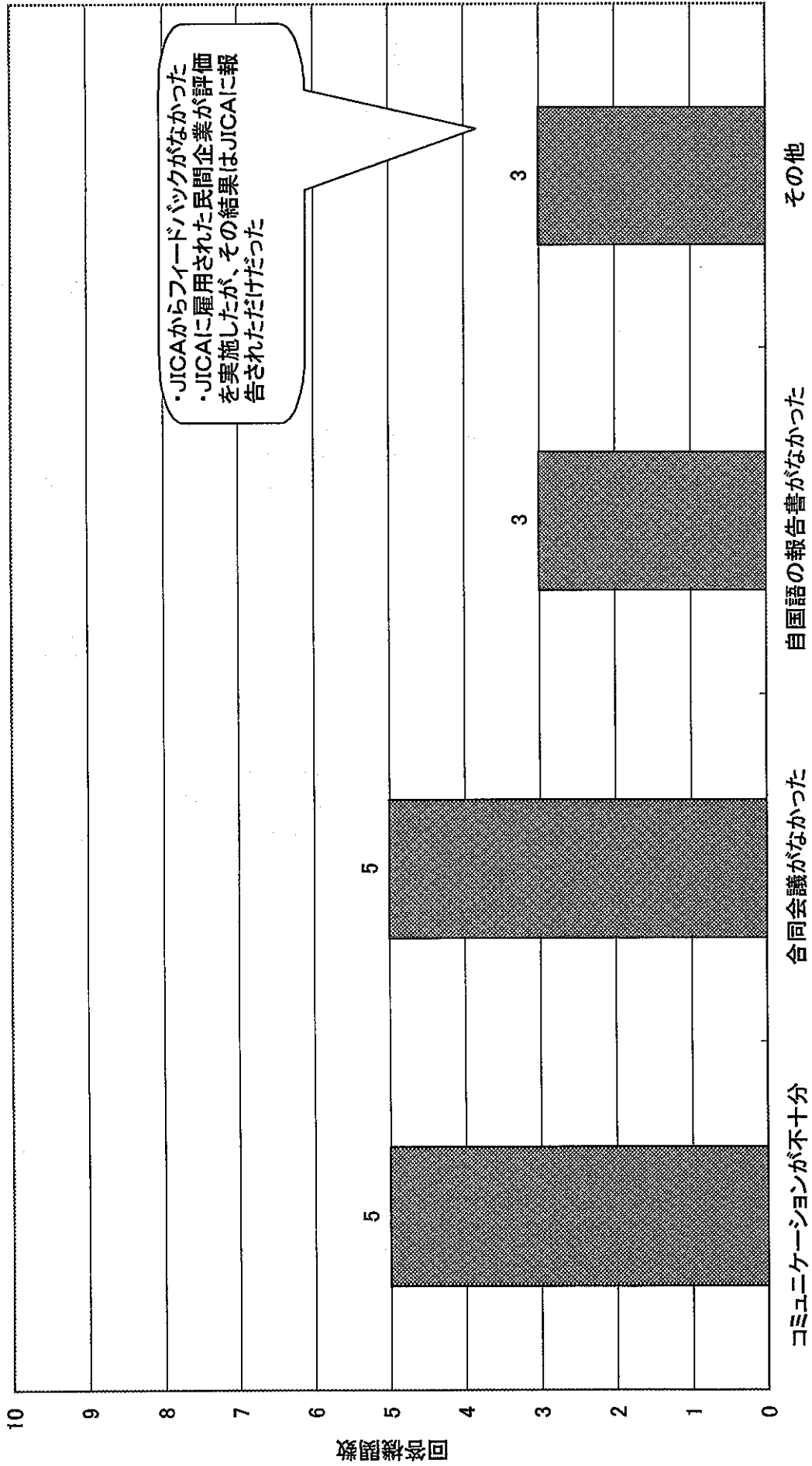


Q2 評価結果を共有したか(地域別)



回答者数

Q2: 評価結果を共有できなかった理由 (該当機関数15)



Q2 評価結果を共有できなかった理由(地域別)

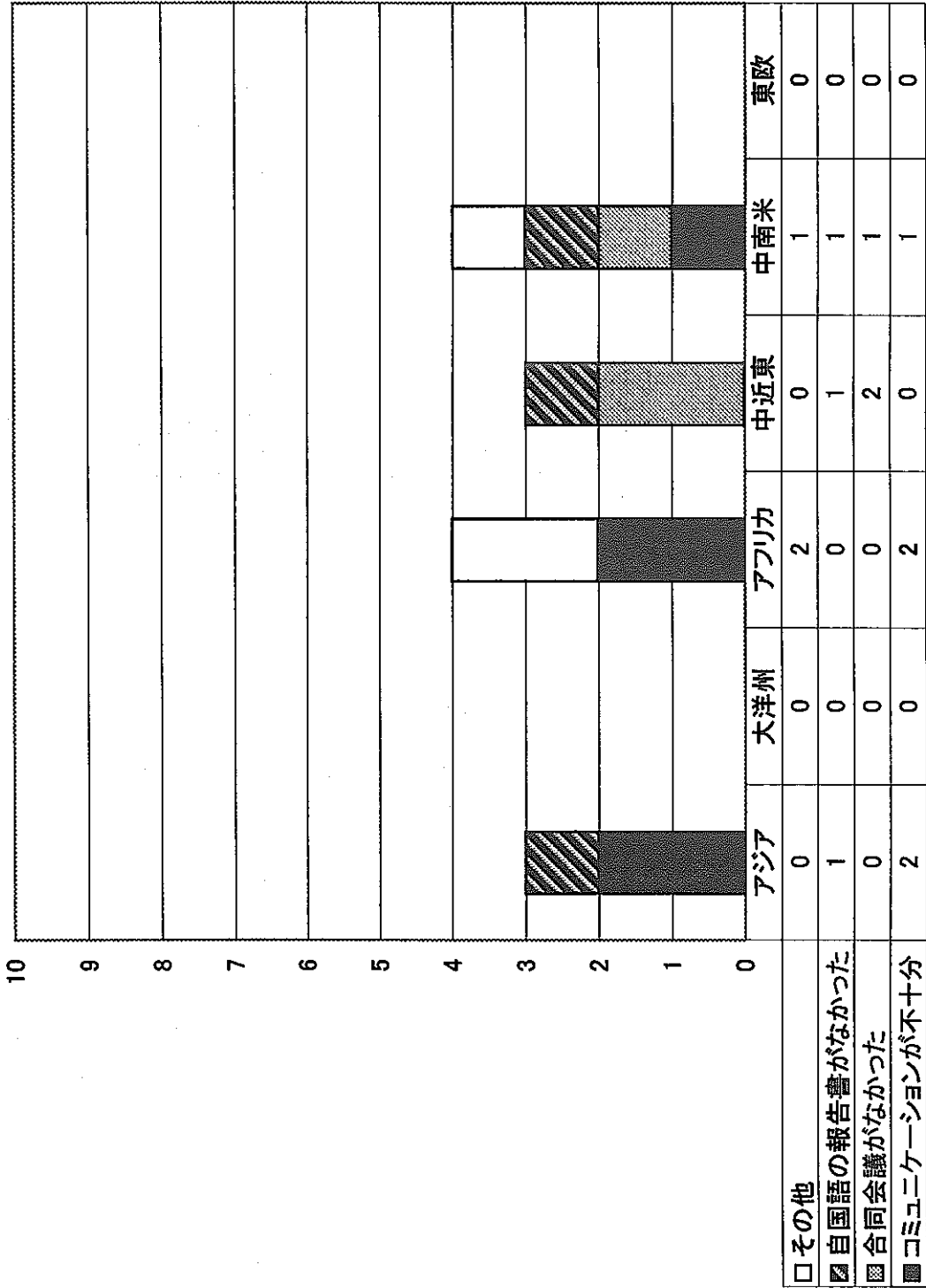
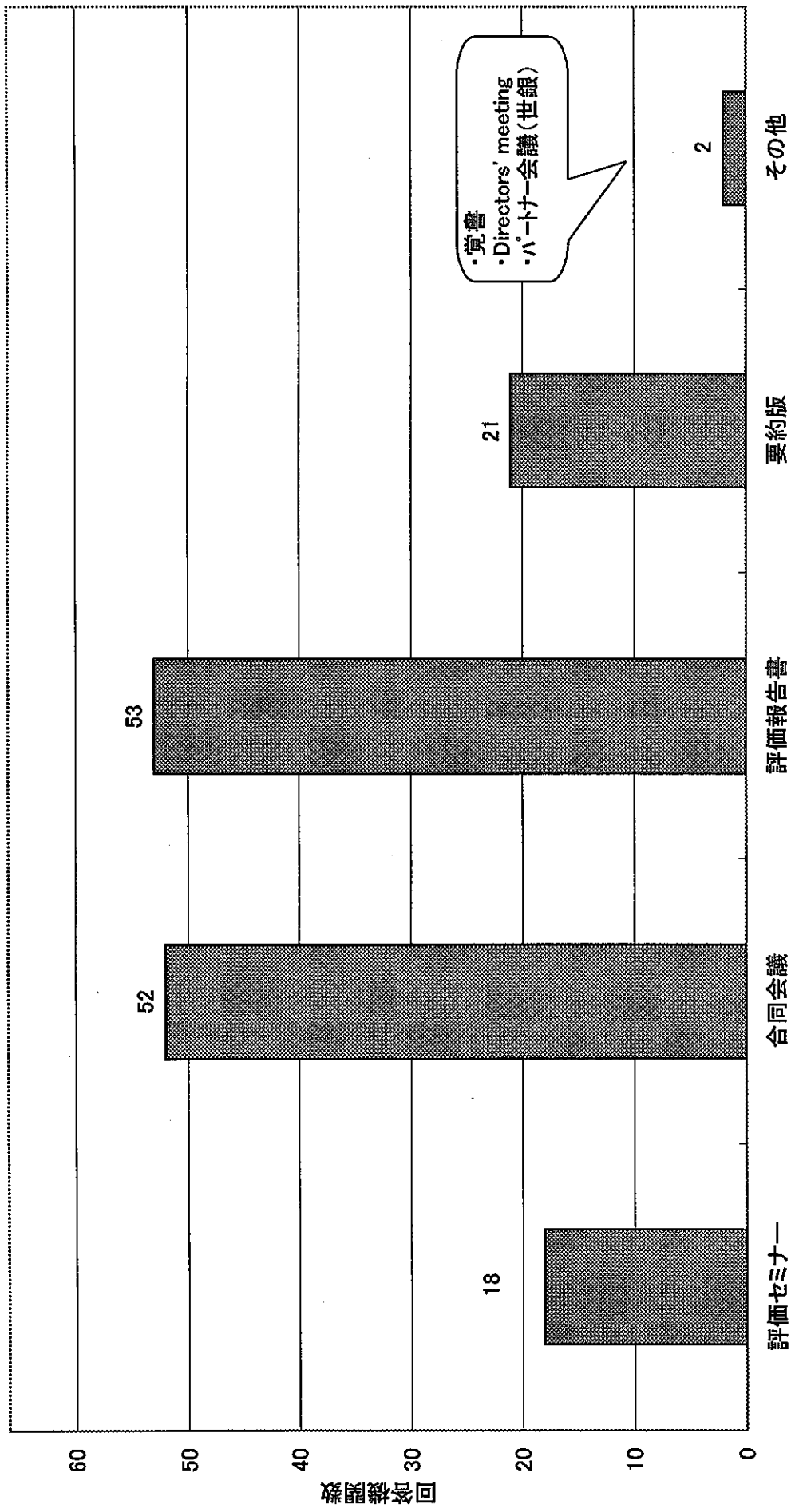


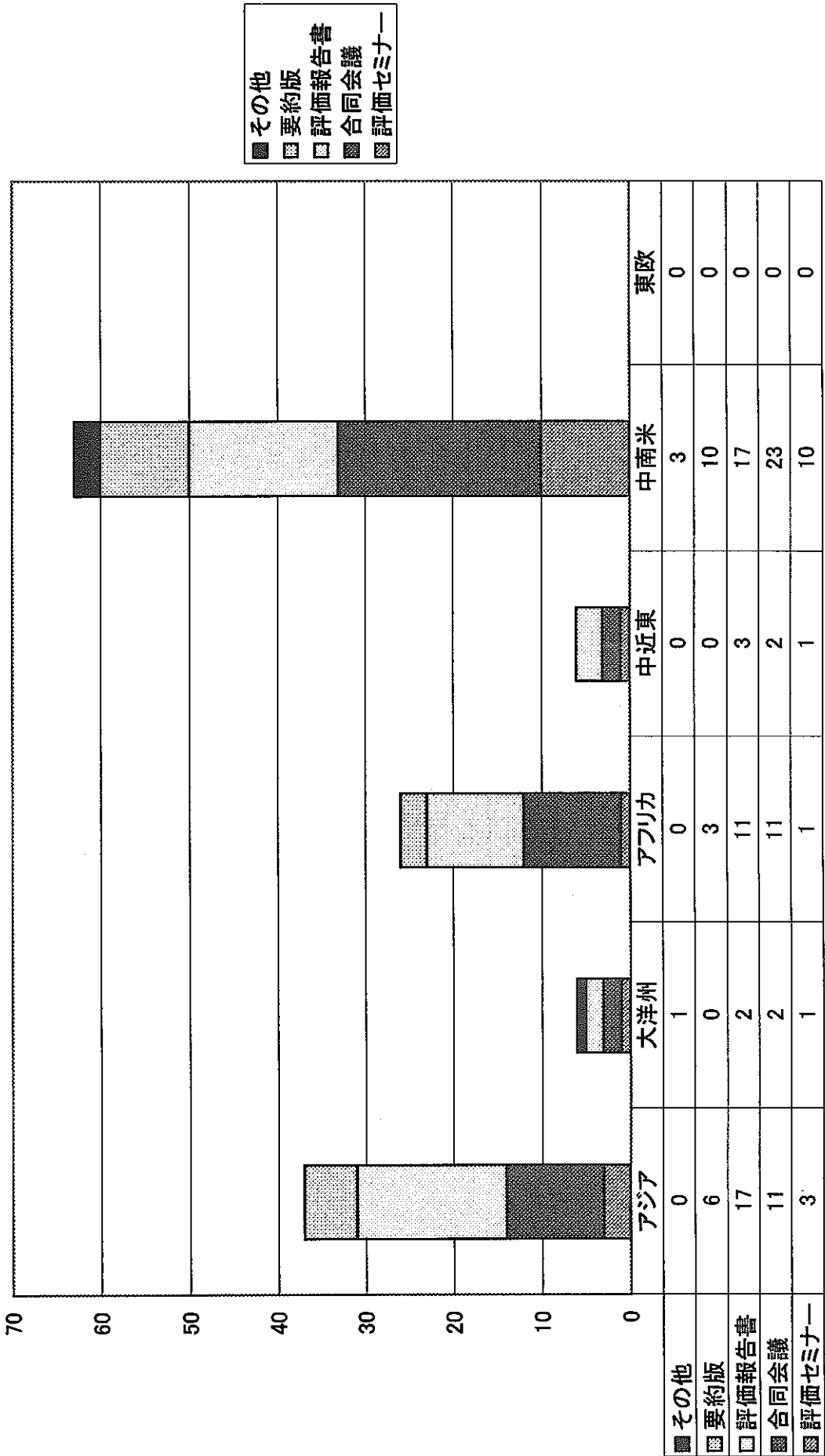
表 監査 巡回

Q3: 評価結果はどのように提供されたか



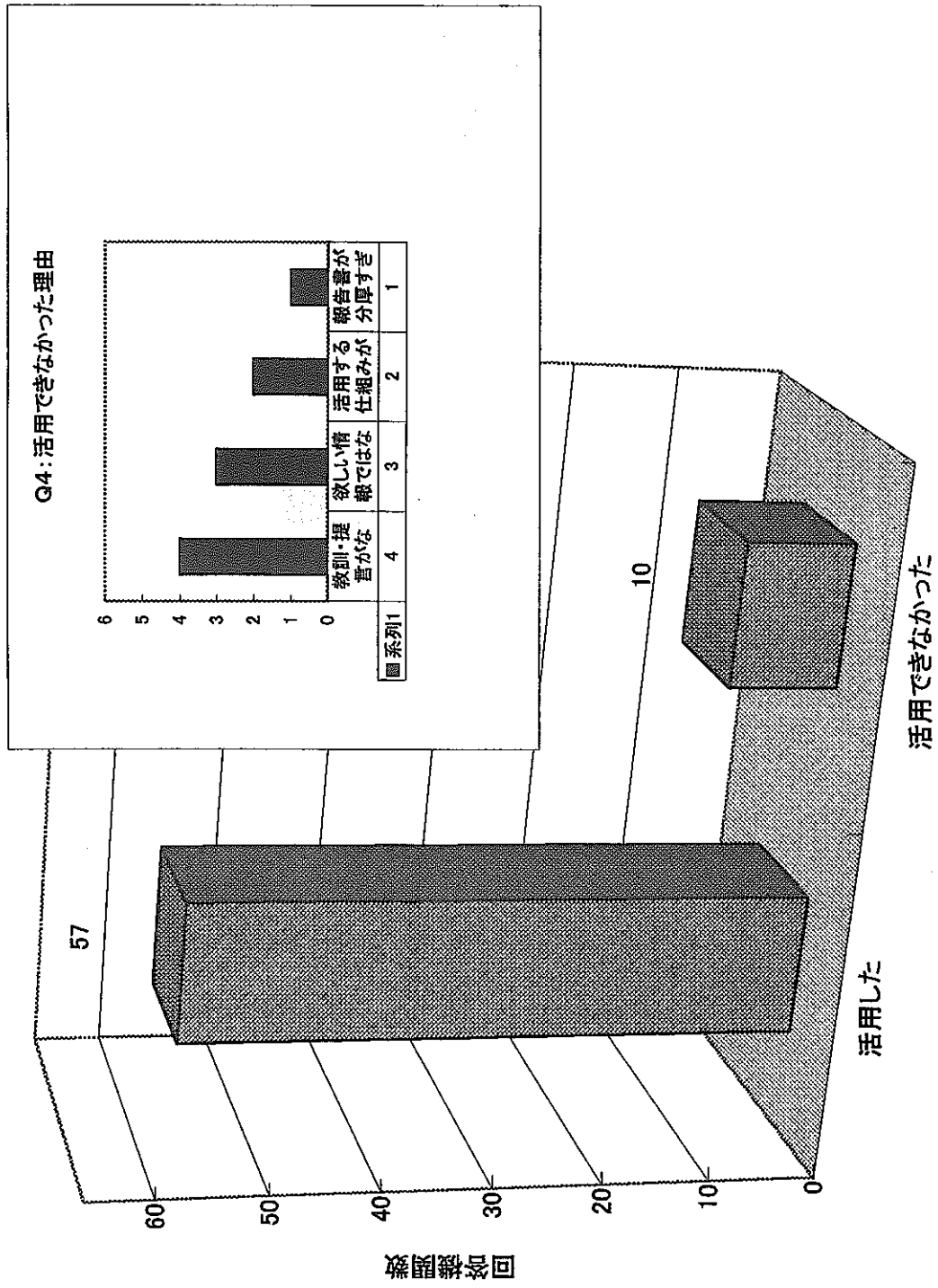
提供方法

Q3:評価結果はどのように提供されたか(地域別)



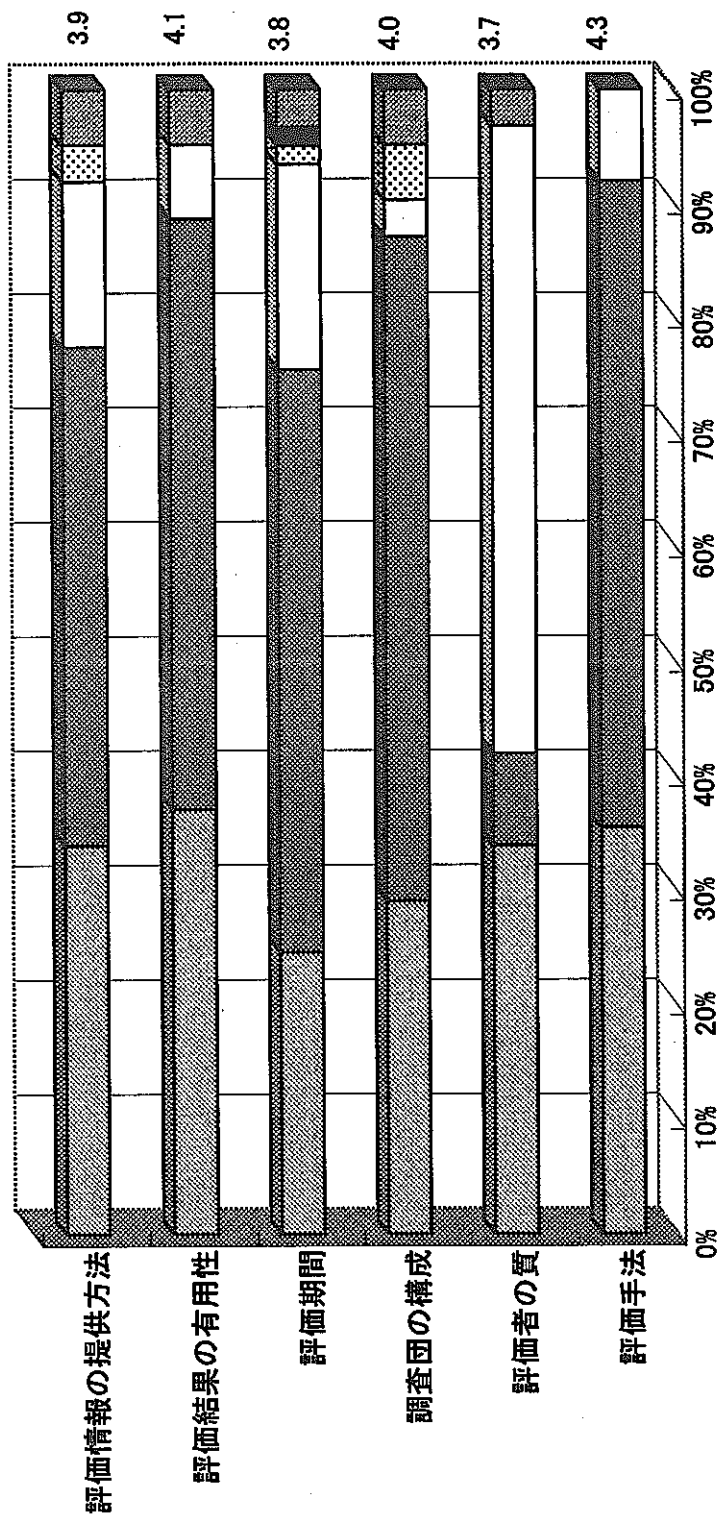
(単位: 回) (複数回答可)

Q4: 評価結果は活用されたか(該当機関72)



Q5-1 中間評価調査への満足度(該当回答機関62)

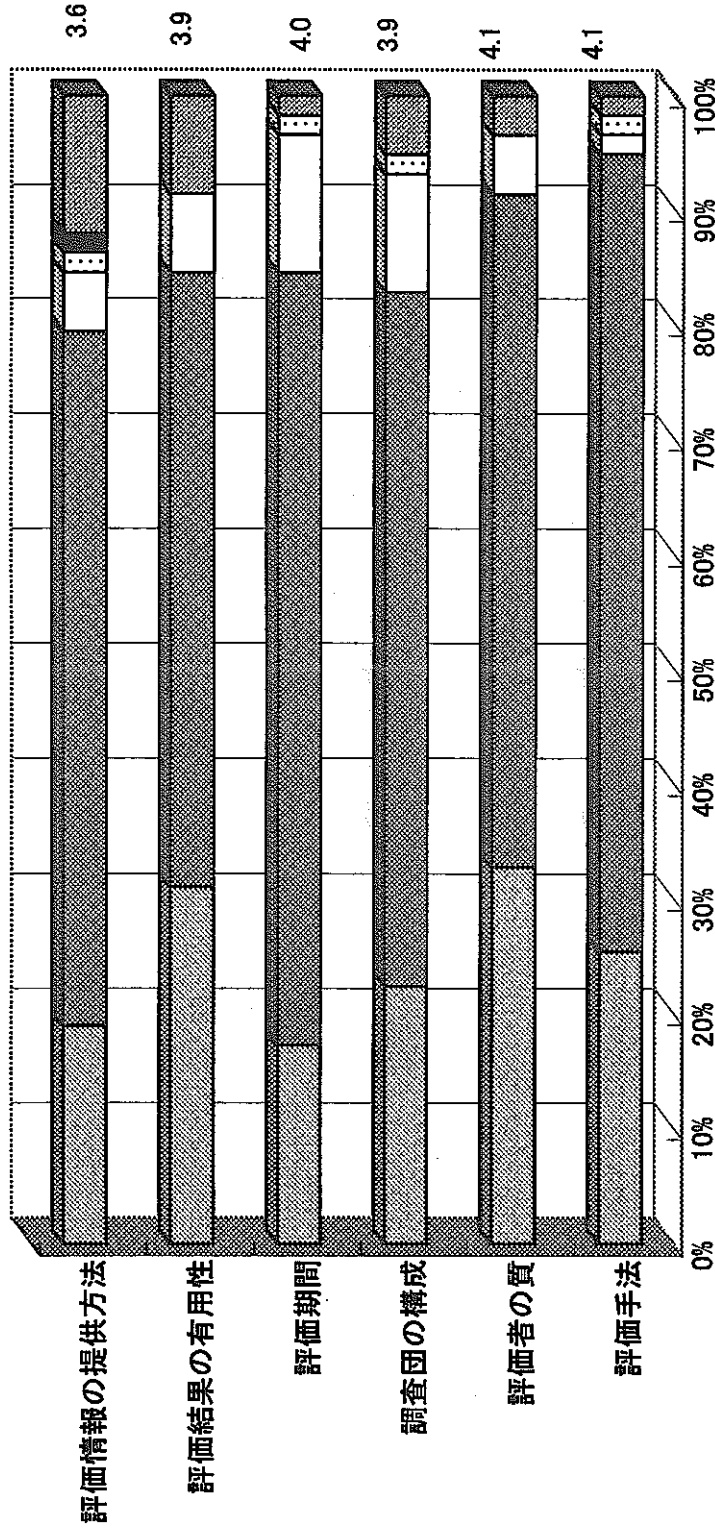
(5段階平均)



回答数	中間評価調査への満足度(該当回答機関62)					
	評価手法	評価者の質	調査団の構成	評価期間	評価結果の有用性	評価情報の提供方法
不明	0	2	3	2	3	3
非常に不満足	0	0	0	1	0	0
不満足	0	0	3	1	0	2
どちらともいえない	5	34	2	11	4	9
満足	35	5	36	31	32	27
大変満足	22	21	18	15	23	21

Q5-2 終了時評価調査への満足度(該回答機関58)

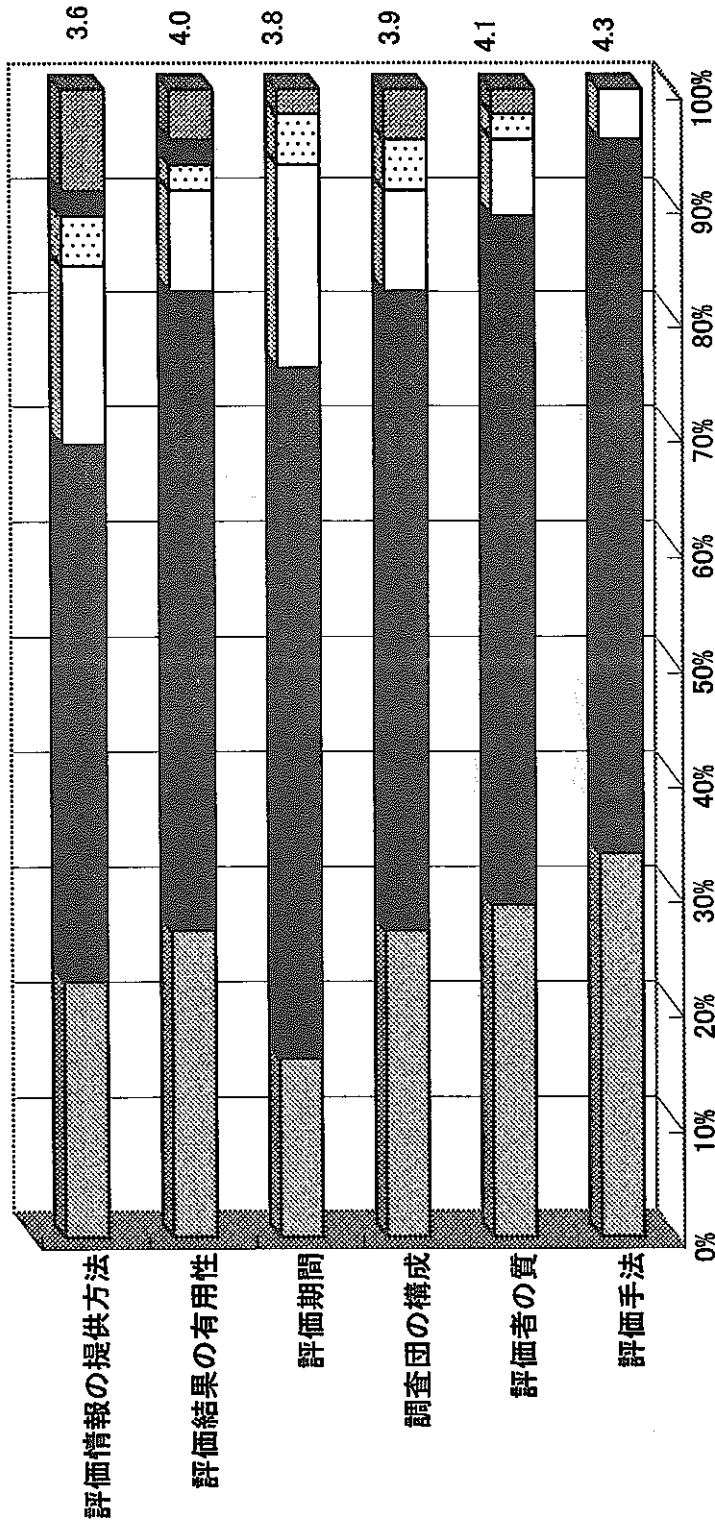
(5段階平均)



回答数	評価手法	評価者の質	調査団の構成	評価期間	評価結果の有用性	評価情報の提供方法
不明	1	2	3	1	5	7
非常に不満足	0	0	0	0	0	1
不満足	1	0	1	1	0	1
どちらともいえない	1	3	6	7	4	3
満足	41	34	35	39	31	35
大変満足	15	19	13	10	18	11

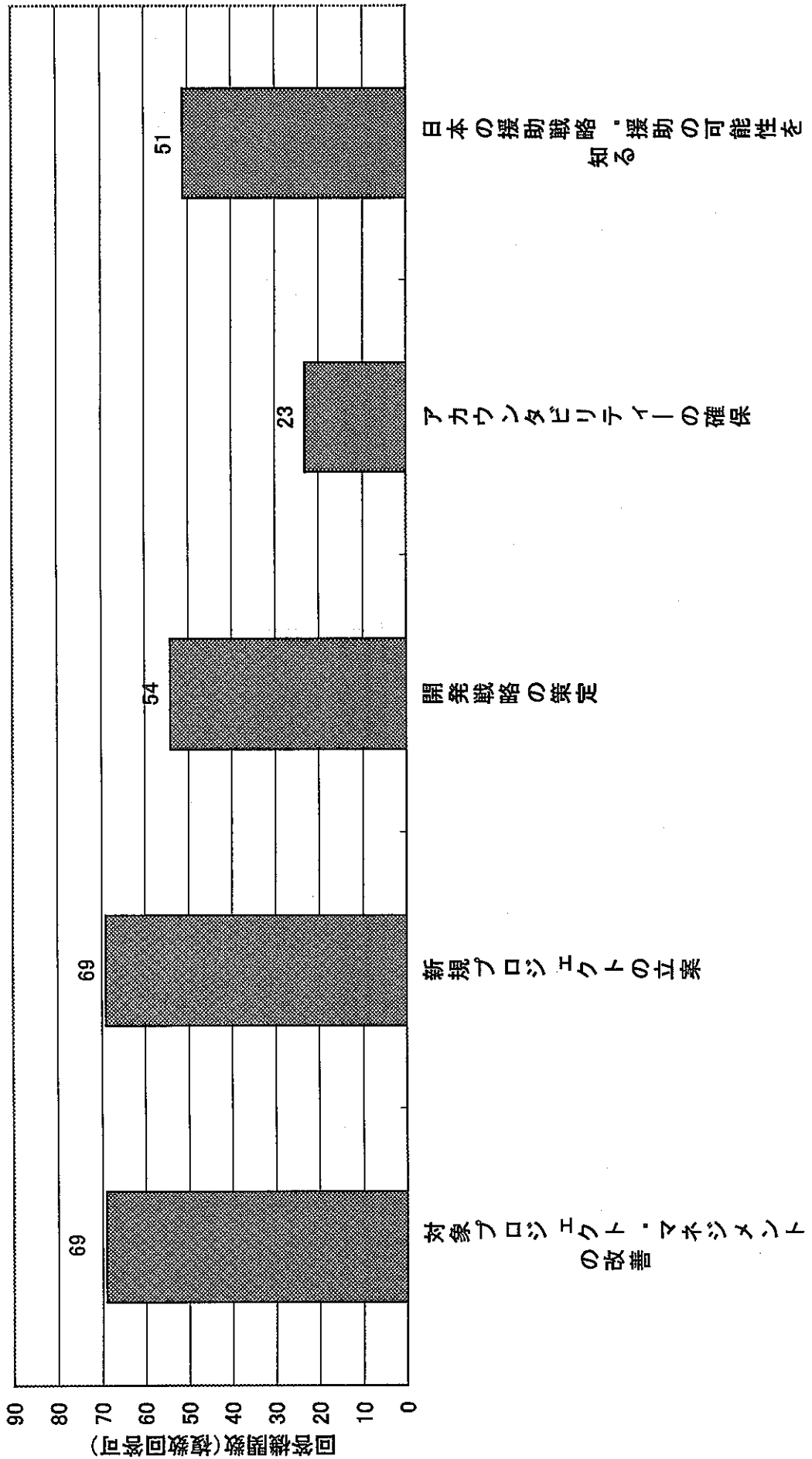
Q5-3 事後評価調査への満足度(該当回答機関36)

(5段階平均)

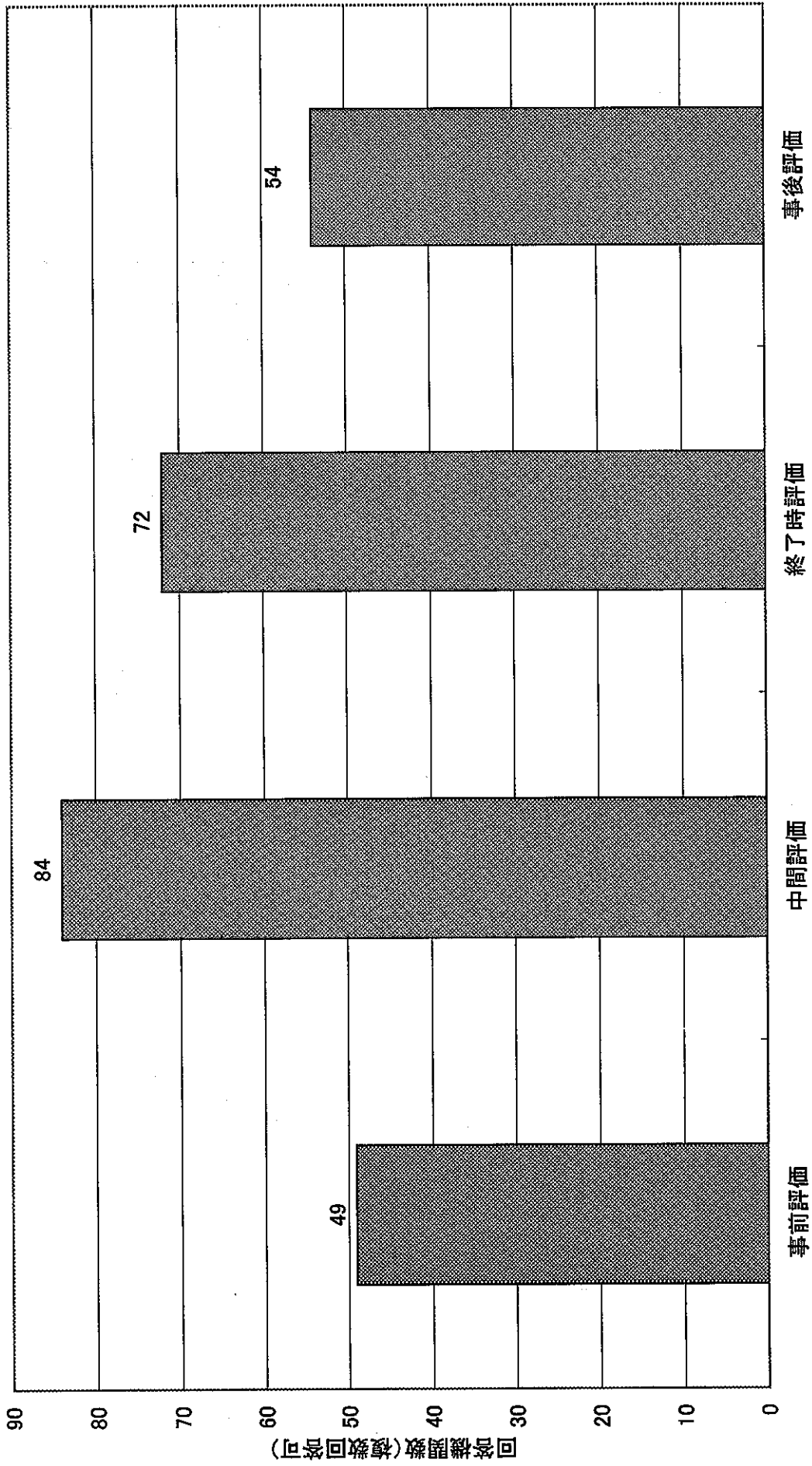


回答数	評価手法	評価者の質	調査団の構成	評価期間	評価結果の有用性	評価情報の提供方法
不明	0	1	2	1	2	4
非常に不満足	0	0	0	0	1	1
不満足	0	1	2	2	1	2
どちらともいえない	2	3	4	8	4	7
満足	28	27	25	27	25	21
大変満足	15	13	12	7	12	10

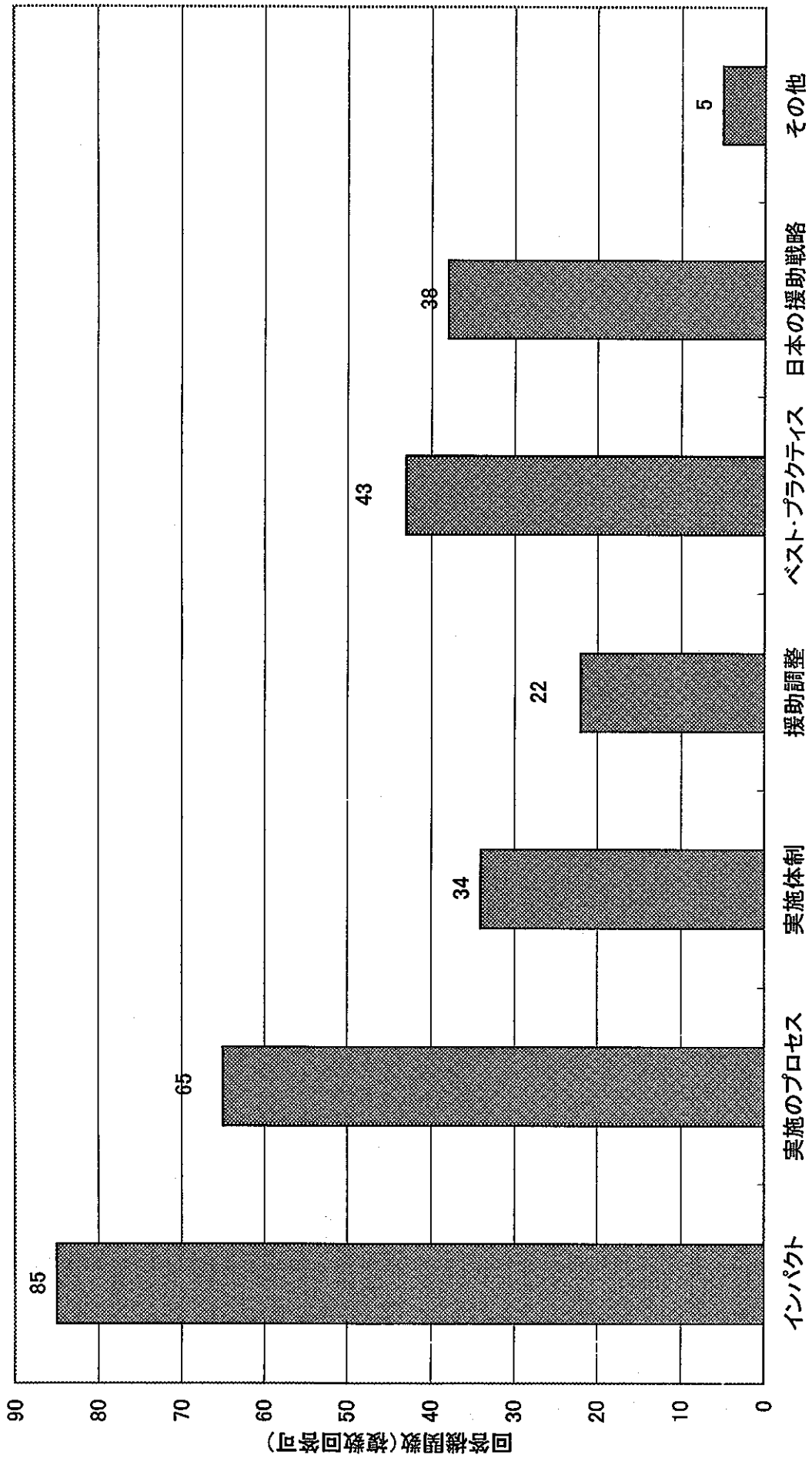
Q6-1 評価へのニーズ①評価の目的



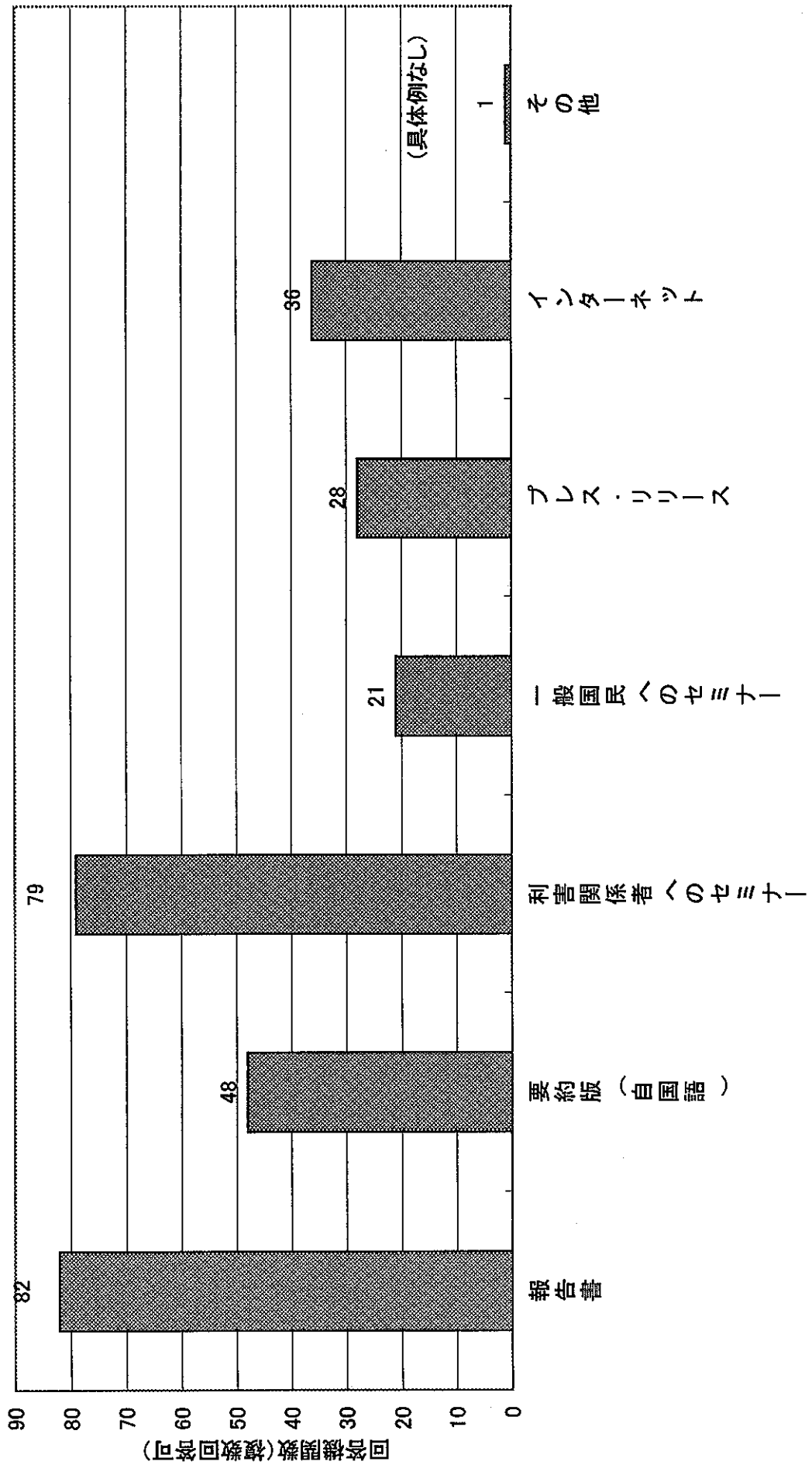
Q6-2 評価へのニーズ②評価時期



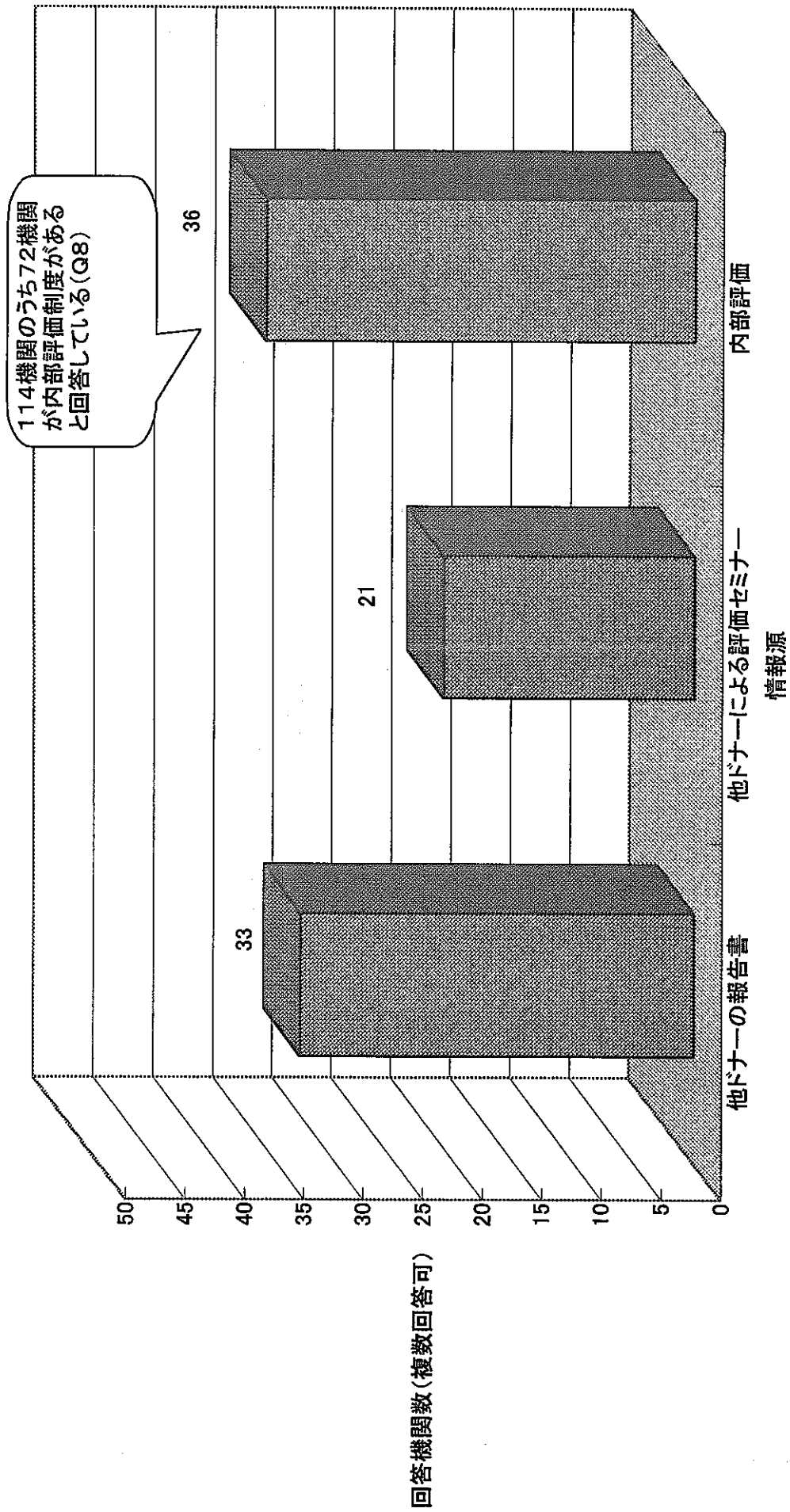
Q6-3 評価へのニーズ③何を評価するのか



Q6-4 評価へのニーズ④評価情報の提供・公開方法



Q7 他の評価結果の情報源



Q9: JICAに望む評価情報

	1. 教訓や具体的な提言(22件)
1	changes that needs to be done to improve program/project implementation,
2	type of training and workshops that suit to the existing set-up of the institute
3	lessons learned both good and bad, as these provide good inputs in project management
4	The JICA'S opinion about the development project are very important
5	the recommendations for improvement of the project
6	the obtained conclusions and suggestions, and about strategies for a better or to improve dissemination of results
7	best practice' recommendations
8	a summary reports contains the following: findings, main problems, results, recommendation for better implementation
9	implementation of recommendations and lessos learned from the evaluation studies
10	recommendations and advices
11	technical evaluation and recommendations made
12	results/recommendations relating technical matters of the project
13	recommendations based on technological changes
14	sustainability plan
15	common new strategy to correct or to improve on-going methodology
16	unbiased findings and recommendations
17	how to improve our technical affairs
18	final evaluation report and recommendations for future activities
19	lessons learned and recommendations
20	models to structure projects
21	the best practice and lesson learned from the project
22	technical recommendation for new technology
	2. プロジェクトの効果・成果の測定(14件)
23	impact evaluation of research
24	outcome or impact of the project
25	impact and benefit of the project, also the advantage and disadvantages of the project
26	performanace and achievement of each research group
27	new technologies and skills acquired through collaboration and training
28	analysis of impact
29	determination of critical period by comparison with initial objectives
30	成果及び効果についての評価
31	impact of the projects
32	project impact towards socio-economic development
33	information about project development and outputs
34	the evaluation of the general performance of the areas involved in the project and, the general goals and results obtained.
35	impact evaluation of the project
36	Information about the contribution of Japanese project support to the social and economic development of my country
	3. プロジェクトの実施のプロセス・実施体制(10件)
37	proper utilization of resources and their management,
38	problems in the implementation structure
39	the project input and utilization
40	information regarding the on-going progress of any given project, the current status of each project

41	information regarding the implementation process of the project
42	process evaluation report, progress evaluation report
43	implementation problems and their solutions
44	perception of the Authorities Capacity, comments and observation on the working of the GHA(Ghana Highway Authority)
45	implementation process
46	Inputs and outputs
	4. 評価方法(13件)
47	I think that the most useful information is found in the recommendations. On the other hand, it has been useful to know the methodology utilized.
48	samples of mid-term and terminal evaluation reports applying PCM methodology performed in other countries
49	PCM literature written in Spanish language (Monitoring and evaluation stage)
50	Japanese evaluation methodology
51	JICA should provide an evaluation study in the post of the master plan and feasibility studies result. Because in the result so far some projects were selected in a study period are given less priority for Japan's Grant Aid.
52	For joint studies the views of JICA evaluators are necessary for efficient and smooth management of the project.
53	It will be very good if we have a better understanding of the evaluation methodology of JICA before participation.
54	Reasonable methods are needed.
55	technologies and methods of evaluations are needed
56	evaluation methodology
57	We would like to know what factors in the view of JICA are most important in evaluating a JICA funded projects.
58	Methods or indicators to measure the effectiveness and impacts of the projects./Indicators to evaluate the performance of the projects.
59	JICA can provide us with its evaluation reports which could virtually be useful in developing effective mechanism for the proper evaluation of the government projects
	5. 新規案件立案に関連する情報(7件)
60	end project evaluation as an input to the next or subsequent projects
61	indication of correction measures and implementation of "after care" actions
62	information to feed back to new project planning
63	future projects and co-operation possibilities with JICA or other Japanese donors and partners
64	advice for the future cooperation
65	identification of components that may require further support
66	plan for next period
	6. 阻害・貢献要因の分析(6件)
67	The detection of the problems that are presented by implementing institutions or beneficiaries from JICA's view
68	strengths and weaknesses identified during the project evaluation
69	findings and recommendations as to the strategies and approaches being applied in the course of the study
70	the indication of the weakness and strength of the project
71	difficulties in implementing projects
72	lessons learned-weakness & strength in project implementation, design and implementation arrangement or strategies
	7. 類似案件の情報(3件)
73	information from other countries about cartographic development and technology transference projects

74	information on similar cooperation projects in the world and in Japan
75	comparative evaluation or other similar agencies projects
	8. その他
76	JICA policy directions on overseas support (developing countries), JICA development assistance program direction
77	preinvestment studies for MWWTP for the hot spots
78	dissemination of the progress report of the evaluation
79	strategies of JICA for the cooperation
80	JICA evaluation in Jala-jala project (grant aid programme)
81	Technical Cooperation (individual expert dispatch program, equipment grant program, mini project type, development moving program)
82	the result of the mid and year end evaluation
83	In general, we are very satisfied with the Technical Cooperation Agreement between JICA and SENAI/SP and the consequent Evaluation Study Missions, that have been responsible for the success of those implementations. Congratulations and thank you very much
84	Evaluation of TCTP/it will be useful that evaluations should be taken after each one by mission constituted by JICA and CESTEHE personnel. In this case, as JICA has much more experience in organizing such kind of training, suggestions provided by the evaluation
85	evaluation seminars or workshops to stakeholders
86	scholarship offers in our research areas, scientific papers or reports from our ex-counterparts in Japan, and catalogues and any magazine from Japan related with our study
87	All forms of information derived through any JICA evaluation work and conducted jointly or independently should be made available in its raw or analyzed form to GoPNG. This includes evaluation results, baseline survey results, management & operational issues and remedies as suggested.
88	technical, administrative, financial and environmental aspects of any evaluation study. In fact, all aspects are useful.
89	everything
90	all reports are useful in order to direct future actions
91	all kinds of information
92	all the information
93	all relevant information to evaluation studies
94	mid-term evaluation
95	feedback and results should be submitted for future planning
96	focus on weak areas in the projects
97	ability to strengthen scientific friendship and cooperation

Q10: JICA評価に関する自由コメント

	1. 相手国実施機関、関係者への評価調査への参加(17件)
1	The Colombian Agency for International Cooperation would like to be involved in the JICA evaluation system. In that case, it is important to: 1)have more information about the JICA evaluation system itself, 2)discuss with JICA on the terms of referenced of evaluation
2	We would suggest that the PMO should be involved in the conduct of evaluation aside from the JICA team. This will enable the PMO, to ases and get first hand information as to the impact and effectiveness of the project that the institution is implementing.
3	We suggest a more enhanced and regular consensus forming and consultation that will involve the major stakeholders concerned, the project implementors, JICA and more so the beneficiaries, as they will ultimately gain and/or bear the consequences of the project.
4	There should be closer coordination/consultations with FM on matters pertaining to FP, MCM, Nutrition.
5	De-briefing/orientation of short-term consultants should also be done with central office program managers not only on-site-specific coordinators.
6	Ministry of Finance must be well informed about the dispatch of Evaluation Teams and the type. Invite officials from Min. of Finance/relevant government institutions to join and to be furnished with copies of the results.
7	It is also essential that the evaluation mission understands clearly that established systems of government, and any other related systems which the projects work within. This should also mean that the mission assigned is working closely with local counterparts.
8	We need to be more involved in all JICA evaluation missions. MOP is being very much absent from those process.
9	To ensure proper implementation of the Japanese assisted project, ERD's involvement during evaluation may be taken into account.
10	Evaluation of any kind is a post-facto exercise of the agendas, items of standards of which there has been prior agreement or consent. In case of issue of the development assistance, any agreement in the planning stage by both donor and recipient country
11	Need to use local experts to counterpart Japanese experts. It is also possible to use other experts from countries other than Japan.
12	The department should be requested to comment on evaluation reports prepared by independent consultants appointed by JICA.
13	more contact between JICA and Agency
14	It would be appreciated if joint evaluation teams are set up to evaluate JICA-funded projects.
15	Local consultants and our sraff should be involved in the planning, implementationa and dissemination of results of the studies.
16	JICA evaluation studies would become more reliable if it allows more active involvement from the recipient side in doing evaluation.
17	more coordination with Bolivian side
	2. フィードバックの強化(当該国言語による報告書、セミナーなど 15件)
18	It would be most helpful if project evaluation is feedbacked by both provision of a written report and presentation in a meeting.
19	Please furnish FE with results of the periodic project evaluations done.
20	Evaluation results should be published in English apart from Japanese and disussed during inter-agency or joint consultations for purposes of improving new and future programs/proiects.
21	Rather than having reports which are lengthy, filled with data and statistics, it would be most useful that a simple summary of it .
22	A seminar/symposium on JICA's evaluations system may be organized so that concerned officials of GOB can be acquainted with the system of JICA.
23	Working group seminars are very well appreciated by agency after every evaluation mission

24	JICA should provide full paper of report .
25	The results of such an evaluation should be made available to the recipient countries, in order for them to check the quality of their projects during any project funded by JICA
26	We'll appreciate to have feed back information and suggestions from JICA evaluation studies or Japanese authorities to perform a monitoring system in our center.
27	A preliminary report to stakeholders before the JICA team leaves the country is very important
28	Any evaluation report should be submitted to our office to feed into database system.
29	To be given enough time for detailed discussions with many members
30	The results of the evaluation need to be circulated within the concerned agencies. And then discussed in workshops or seminars for the best and most effective feed back of the projects as well as of cooperation strategy.
31	JICA study team and consultants should be equally accountable to the client as they are ? In the interest of best achieving project objectives.
32	Use results to make more agile the negotiation of future assistance
	3. 評価方法・内容の改善(実施期間、評価人材など 11件)
33	JICA's evaluation must be taken place at least 10 days for best knowledge about development of the project.
34	More joint Evaluation should be encouraged and undertaken between GoPNG/JICA/Private
35	Potential and competent national consultants should be involved in such evaluations with competitive packages
36	Widened the time in some cases
37	Evaluation teams should be noticed or informed prior at least 4 weeks before arrival.
38	Arrangement for workshops or training for personnel on evaluation is necessary.
39	In case of agricultural research institutes, it is suggested to evaluate projects by publications, papers in scientific meetings, graduate students and scholars working in the project, grant money obtained from national and international organizations, impacts in assistance to industry and farmers.
40	We think if JICA could put a liaison personnel who has good command of English during evaluation activities.
41	We would like to suggest that in future, factors which will be evaluated at the end of projects should be clearly spelt out at the project appraisal stage.
42	Must be specific to the sector
43	It would be useful that possible sources of funding for evaluation studies from Japan is also identified.
	4. 評価の必要性について(8件)
44	I think that evaluation are necessary for making the required adjustments in the project. Therefore, I suggest that they continue being carried out before, during, and after the implementation of the project with the purpose of getting to know its development
45	No comment, just keep doing evaluation studies.
46	The evaluation studies conducted by JICA are very effective and helpful for reaching the desirable results from the project.
47	Please dispatch evaluation teams more often to MCTPC(Lao). We had only one evaluation team for Training of River and Dam in Japan.
48	JICA evaluation studies are very appreciated. I think my agency will send other requests for evaluation studies in the future when needed.
49	The project evaluation is an important step in the management of any projects, therefore it should be initiated very often.

50	We would like to receive JICA evaluation during project implementation.
51	It is a very good effort in order to ensure good project performance and achievements.
	5. JICAの評価(方法)を知りたい(4件)
52	We would like to obtain a copy of a recent JICA Evaluation in order to know the topics you evaluate.
53	We need guidelines for utilizing JICA evaluation studies.
54	A standard evaluation scheme be made available to counterparts at start of the project.
55	We appreciate any evaluation studies which are coordinated between JICA and MOPIC.
	6. その他
56	Faster solution for problems identified during evaluations promoted by JICA. Example: it was reported by our team during the final evaluation of our mini-project, that the software for use of the Kanomax system for the study of the exaution and ventilation systems provided by JICA, was sent in Japanese. As unfortunately, Japanese is not a easy language it has been almost impossible for us to use such equipment.
57	to organize periodically training programme to personal and up-dating in modern working
58	JICA's experts have a lot of knowledge for giving professional advise for the project.
59	Forestry Department appreciates a lot the tied relationship with JICA. For the time being, evaluation studies have been well managed and seriously implemented and carried out.
60	? Equipment should be highly considered to ensure success of the project
61	We work with so many people in the name of JICA. We would love if JICA could communicate people to work with us in time to enable the Ministry retain or release necessary inoformation.
62	開発の必要性及び優先度が高い分野である母子保健プロジェクトに対するJICAの協力支援の継続
63	On July 2000, we had a meeting with a Japanese mission to carry out an evaluation study. This is the first time we are going to work together in this issue.
64	JICA's evaluation studies help to increase group potential.
65	Please try to konow actual situation of SASO (Saudi Arabian Standard Organization) in order to cooperate further more.
66	good